

第 9 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

平成 2 7 年 8 月 6 日

臨 時 会

平成27年第9回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 平成27年8月6日
 招集の場所 教育委員会室
 開閉会日時 開会8月6日 午前 9時00分
 閉会8月6日 午後 4時44分

出席委員

委員長	住田 俊	委員 長 職務代理者	櫻田 玲子
委員	堀川 智子	委員	進藤 秀子
委員 (教育長)	吉田 茂		
欠席委員	なし		

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横川 清	選定委員長 (東中校長)	鈴木 秀希
教育総務部 副部長兼 スポーツ振興 課長	植田 春夫	選定委員 (新栄中校長)	須藤 亘
教育総務課長	山梨 一弘	選定委員 (北陽中校長)	中村 保雄
学校教育部長	野口 久男	選定委員 (武蔵野中校長)	多田 豊秀
学校教育部 参事兼 学校管理課長	日下部 行雄	選定委員 (大相模小校長)	黒須 琢也
指導課長	瀧田 優	選定委員 (北中校長)	鈴木 寿一
教育センター 所長	小林 俊夫	選定委員 (蒲生小教頭)	小倉 しのぶ
指導課調整幹	中台 正弘	選定委員 (平方中校長)	大西 久雄
教育センター 調整幹	石山 秀樹		

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副課長	中村 則行	指導課主幹	原田 肇子
指導課 主任指導主事	上野 雅祥	指導課 主任指導主事	長谷川 裕晃

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	議 案	
	・ 第 4 5 号議案 平成 2 8 年度使用中学校教科用図書の採択について	原案可決 (一部秘密会)

◎開会の宣告

住田委員長 これより8月の臨時教育委員会会議を開会いたします。

本臨時会に関し、現在14名の方から傍聴許可願が提出されておりますので、ここで傍聴人の入室を許可したいと思います。

〔傍聴人入室〕

住田委員長 傍聴人におかれましては、静謐な審議の進行にご協力をお願いいたします。

◎第45号議案 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について

住田委員長 それでは、7月定例教育委員会会議において議題とし、審議の途中となっております第45号議案「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」、引き続き審議を行うこととします。

審議に入る前に、審議種目の順序についてですが、7月定例会において、国語、書写、社会の地理、歴史、公民、地図を審議いたしました。

本日は、引き続き、特別支援教育、理科、音楽一般、音楽の器楽合奏、美術、保健体育、技術・家庭の技術分野、技術・家庭の家庭分野、数学、英語の種目の順で審議を進めてまいります。

また、審議の手順についてですが、種目ごとに審議及び採択を行います。

審議は、まず、選定委員からの説明及びそれに関する質疑を行った後に協議を行います。その後、教育委員による最終協議及び採択を行います。

全体の採決については、本日、すべての種目の採択終了後に、一括して行うことといたします。

なお、前回の会議の中で決定したとおり、採択に係る最終協議及び採択の部分については、教科用図書採択の静謐さを保つために、別会場にて秘密会といたします。

それでは、これより教科用図書採択に係る審議に入ります。

はじめに、特別支援教育に係る教科用図書の審議いたします。

採択の対象となるのは、文部科学省著作の特別支援学校中学校部用教科用図書国語、数学及び音楽です。

選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 特別支援教育に係る教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。なお、国語、数学、音楽を一括してご報告をお願いします。

須藤選定委員（新栄中校長） それでは、特別支援教育に係る教科書についてご説明させていただきます。

調査報告書の調査の観点の1から5に沿って説明させていただきます。

まず、国語です。観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、(1) 伝え合う力を育成するために、実際の中学校の生活に即して、挨拶、自己紹介など、さまざまな場面やシチュエーションに合わせた例が取り上げられています。そのため、基本的なコミュニケーションから敬語を使ったものなど、幅広く学べるように工夫されています。また、ファクスや電子メールなど、今の時代に合わせた伝えるツールの例を取り上げることで、生徒の実態に合わせた指導がなされる工夫がしてあります。(2) 題材の「メモ」では、何をどのようにメモするとよいのかを明確にしています。「はがき」や「手紙」では、暑中見舞いや年賀状の書き方にも触れ、実生活の中ですぐに役立つものになっているという工夫が見られます。(3) 物語の配列も、構成、内容、分量を徐々にレベルアップさせ、知的障がいを持つ生徒たちが学習しやすいように配してあります。

観点2の「内容」です。(1) 星3つから星4つについては、小中学校の連続性が図れるように工夫されています。(2) 実際の生活場面に沿って、答え方や説明の仕方が詳しく掲載され、自分の名前や生年月日などを入れて答えられるようになっています。

観点3の「資料」では、普段は入れないスーパーマーケットの内部が紹介してあったり、図やイラストを多く用いて、生活に結びついた内容、実践に即した内容が分かりやすく提示されています。

観点4の「表記・表現」では、「絵はがき」という単位では、実際に写真に合わせた文章が分かりやすく書かれ、知的障がい者に配慮した内容の構成になっています。字体は教科書体が中心で、タイトルや見出しと地の文とのメリハリがあり、内容の把握に役立っています。

観点5の「総括」では、「ゆきおんな」や「よびかけ」など、音楽を効果的に使い、文章と音楽が生徒の心に分かりやすく響くような構成になっています。

全体的に標準的な地域環境が描かれ、越谷の生徒が学ぶために適していると思われます。

次に、数学について説明します。

まず観点1の「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきまして、(1) 日常生活に関する絵や図を使って、分かりやすく説明しています。はじめは四則計算を中心に扱い、後半では計算機の使い方や図や表、お金、時間など、学習によって得た事柄が実際の生活の場で応用されやすい内容となっています。(2) 単位の書き方から丁寧に学べるようになっています。また、身長や体温を測る課題やコンパスやガムテープの内径を使って円を書く例などが記載されていて、生活に応用することができる内容となっています。(3) 図を多く用い、視覚的により理解しやすいよう工夫され、数学的な処理がしやすくなっています。

観点2の「内容」では、(1) 小学校の学習内容を踏まえ、図や文章題を多く取り入れることで、より生活に応用できるよう工夫されています。(2) 四則計算から始まり、長さ、広さ、時間など、

身の回りの課題を扱い基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、主体的な学びに結びつけられる内容となっています。

観点3の「資料」では、多くの説明用の挿絵などを用い、分かりやすく工夫されています。中でも引き算の導入では、透明シートを利用して物語的に話を進められるよう工夫されています。

観点4の「表記・表現」では、(1) 漢字にはルビが振ってあり、誰でも使いやすい構成になっています。また、教科書に直接書き込みができるようスペースの工夫などを行っています。(2) 足し算、引き算では、10のまとまりごとに色分けするなど、色使いやレイアウトに工夫が見られます。

観点5の「総括」では、(1) 生活に根差した具体的な例を取り上げています。ICTに関しては、電卓を取り上げたり、小遣い帳の記入にパソコンを使ってもできるという紹介などを取り入れています。(2) 挿絵が多く、生活に密着した内容で、分かりやすく構成されているので、本市の子どもたちが学んでいく上で適切と思われます。

次に、音楽について説明させていただきます。

観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、(1) 挿絵や写真がきれいで、生徒の興味・関心を引きつけ、教科書を見るのが楽しくなるよう工夫されています。中学生らしい曲や行事で使われる曲が選曲され、音楽への関心を高め、音楽を楽しむ態度を育てるための工夫がされています。(2) 既成の楽器以外にも、自作の楽器を取り上げるなど、さまざまな楽器に親しむよう工夫されています。(3) 最初は歌詞カードが多く、どの生徒にも楽しめる内容がある一方、後半には楽譜のページがあり、譜面が読める生徒にも対応しています。

観点2の「内容」では、(1) 昔からのスタンダードな曲に加え、最近の歌や合唱曲、英語の歌詞の歌なども載せられていて、さまざまな歌に取り組むことができます。(2) 簡単なものや、小学校のときにどこかで聞いたことがある題材から、徐々に新しい題材へと発展した内容になっています。

観点3の「資料」では、さまざまな挿絵や写真が用いられるとともに、楽譜についても通常の楽譜が難しい生徒用に簡易なものの掲載があり、合奏に取り組みやすくなっています。

観点4の「表記・表現」では、(1) 指揮者の挿絵のところに、その題材の狙いが書かれており、全ページ統一され、分かりやすくなっています。(2) どのページにも、歌詞にふりがなが振ってあります。楽譜に関して、五線譜が読めなくても合奏できるよう工夫されています。

観点5の「総括」では、(1) 鑑賞の教材で、ただ曲を聴くだけでなく、バレエやオペラなどを視聴しながら楽しめる内容になっています。また、ICTの活用では、「コンピュータで「マイソング」をつくろう」といった題材が取り上げられています。(2) 選曲もよく、明るい歌と明るい絵柄で、親しみを持って本市の生徒たちが取り組める内容であると言えます。

次に、教科書の推薦でございますが、特別支援教育につきましては、他の教科書会社のものと

どれを選ぶというようなことではありませんが、特別支援学校用の教科書を特別支援学級用の教科書として推薦いたします。

ご説明及び推薦に関しては以上です。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いします。

はじめに、国語の教科用図書に関するご質問、ございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 言語の活用に基づく思考力や判断力、表現力の育成はどのように扱われておりますでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 題材は、全て生徒が興味・関心を持ち、自ら表出しようと思わせる内容や挿絵になっています。指導者が題材と生徒の間に入り、実態に応じた指導をもとに、生徒の言葉や、発語のない生徒であれば感情を表出させる学習活動につなげられるものとなっています。身近な生活にかかわる題材も多く、より生徒の主体性を発揮させることができるとともに、学校での学びが日常生活の中でも発揮されるよう、「般化」につなげることが可能な内容となっております。

堀川委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にありますか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 伝統的な言語文化はどのように取り扱われているのでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 伝統的な言語文化に関しては、昔話「ゆきおんな」、「ねぼうしたねこ」、ことわざ。ことわざの中には、例えば「楽あれば苦あり」、「ちりも積もれば山となる」、「急がば回れ」。また俳句では、与謝蕪村の「菜の花や月は東に日は西に」、松尾芭蕉の「名月や池をめぐりて夜もすがら」などが題材として取り上げられています。

住田委員長 他にありますか。

進藤委員。

進藤委員 生徒の実態に応じた教材の配列の工夫はどのようになっていますか。

須藤選定委員（新栄中校長） 教材の配列の工夫ですが、はじめに「中学生の生活」を取り上げ、日常生活で必要なことを学べるようになっています。また、物語は、「ゆきおんな」とか「ねぼうしたねこ」、また「ないた赤おに」の順で配されています。構成、内容、分量を徐々にレベルアップして、知的障がいを持つ生徒たちが学習しやすいように配してあります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、数学の教科用図書に関する質問はございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、私のほうからですが、学びを生活に生かすため、どのような工夫がなされているかということについては、いかがでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 生活に生かすためということで、題材は全て生徒に身近な生活に直結されるものとなっています。学校生活や家庭生活を題材にした挿絵や写真の中にも学習課題が示されていて、それぞれの生徒が自らの日常生活にイメージをつなげることが容易になる工夫がなされています。教科書だけで学ぶのではなく、教科書をきっかけにしたり、日常生活の出来事をもとに教科書の活用をしたり、指導者が生徒の実態を踏まえて指導計画を立て、繰り返しの学習をもとに「般化」につなげる取り組みができるように工夫されています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 国語と同様に、生徒の実態に応じた教材配列の工夫はいかがのでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 教材配列の工夫ですが、日常生活に必要な四則計算に全体の約3分の2のページ数を配しています。その後、長さ、重さなどに続き、お金、時刻と時間というように、生活場面に必要な数量関係を配しています。基礎的な知識や技能の定着とともに、主体的な学びに結びつけられる工夫がしてあると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、次に音楽の教科用図書に関するご質問はいかがのでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 君が代及び日本の歌、音楽の扱いはどのようになっていますか。

須藤選定委員（新栄中校長） 国歌「君が代」として、楽譜編の直前に、四季の花や木の挿絵と歌詞が掲載してあります。そして、楽譜編の最後、教科書の最後のページに、君が代国歌として楽譜と歌詞が掲載されています。

日本の音楽につきましては、季節感や年中行事を生徒が味わいながら取り組めるよう、昔からのスタンダードな童謡、唱歌に加えて、最近の歌謡曲や合唱曲も載せられています。さまざまな歌に取り組むことができるようになっています。日本の歌1、2という単元や、郷土の音楽、日本の楽器と音楽といった単元があり、日本各地の民謡を取り上げていたり、和太鼓、笛、三味線などの日本の楽器について取り上げたり、雅楽の「越天楽」や歌舞伎の「勸進帳」などが取り上げられています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理人 学びを生活に生かすため、どのような工夫が見られるのでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 音楽の学びを生活に生かすということで、みんなで一緒に歌える童謡や唱歌、歌謡曲などが取り上げられています。また、一緒にリズム活動ができるよう「リズムにのって」という単元が設けられています。さらに、バレエやオペラ、ミュージカルなどを視聴しながら楽しめるよう工夫されています。

住田委員長 それでは、もう一つ、私のほうからお聞かせ願います。

生徒の実態に応じた教材の配列の工夫はどのようになっているのでしょうか。

須藤選定委員（新栄中校長） 生徒の実態に応じた教材配列の工夫ですが、教科書の最初のほうは歌詞カードが多く、どの生徒にも楽しめる内容があります。その一方、後半では楽譜のページがあり、譜面が読める生徒にも対応するような工夫がしてあります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、質疑を終わります。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、国語の教科用図書について協議したいと思います。

中学校の特別支援学級で使う国語の教科書として、どのような特色があるかということでありますがけれども、いかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 挨拶や自己紹介、電話の応対、メモのとり方、まちの標識など、生徒にとって身近な生活場面を題材として取り上げているものが数多くありました。また、活動の場面をイメージしやすくするとともに、自分の考えを整理し、表現できる挿絵がふんだんに取り入れられています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 早口言葉など、リズムに乗って楽しく学べる題材も用意されていて、バラエティーに富んでいます。また、例えば「クッキーづくりの感想文」などというものは、国語という教科の指導だけではなくて、他の教科と組み合わせて指導したり発展させたりできる教材であって、その意味では特色があると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 手紙については、お礼やお願いの手紙など目的がはっきりとした文の書き方のほか、ファクスや電子メールなども紹介されています。さらに「いろいろな書類」として、案内状やプログラム、履歴書、宅配の送り状など、将来すぐ必要になるような実用的なものの書

き方が示されています。

住田委員長 他には、国語の85ページですけれども、ディスレクシアの文字認識についてはいろんな学説があるのですけれども、あえて耳鼻咽喉科であるとか、あるいは泌尿器科であるとか、日常生活に必要と思われる難しい漢字もあえて使っているということで、これが少しそのような特別なところというように思いました。

他にはいかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、次に数学の教科用図書について協議したいと思います。

先ほどと同様ですが、中学校の特別支援学級で使う数学の教科書として、どのような特色があるかということですので、いかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 生徒にとって身近な生活場면을題材として数多く取り上げられております。自分の考えをイメージ化できるような挿絵であるとか写真がふんだんに取り入れられておりました。また、日常生活における初歩的な内容がたくさん含まれていました。お金や暦なども扱われておりました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 国語とも共通しますが、買い物を通じてお金の計算を学ぶなど具体的な活動を通しての学習が進められています。また、ハンバーガー店での注文の仕方など、数学だけでなく、ほかの学習と組み合わせて指導したり発展させたりできる題材がたくさん用意されています。また、電卓の使い方が詳しく説明されているのも特色の一つだと思われます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 特別支援学級では、得意なものと苦手なことに極端に差のある子どもたちが見受けられます。また、そうした子どもたちにとって、数学に限らず、身近な題材から総合的に学習していくことは、とても重要なことであると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 特別支援教育にあつては、生活的自立の基礎、これを培うことが大事になってくると思うのですが、その点で、国語同様ですけれども、数学においてもそういう配慮が見られます。特に具体的な場面設定が、132ページにあるように券売機、さらには135ページにあるようにATMの使い方など、将来、社会生活に役立つ内容が多く含まれているというように思います。

住田委員長 他にいかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に音楽の教科用図書について協議したいと思います。

音楽の教科書についても、特別支援教育の教科書としてどのような特色があるかということテーマとしたいと思います。いかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 生徒にとって身近な自然や四季、年中行事などを題材とした音楽を取り上げており、歌謡曲など親しみやすいものをたくさん取り上げてあります。曲想を自分なりにイメージ化できるように、挿絵や写真をふんだんに取り入れられています。

また、歌や楽器を組み合わせたり、体を動かしたりする活動が取り入れられています。多様な学習が可能となるだけでなく、個人差への対応にも役立つと思われます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 音楽においても、キャンプの歌など、他の学習や行事などと組み合わせて指導したり、発展させたりすることが可能な題材が取り上げられております。

住田委員長 他にはいかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 特別支援教育に係る教科用図書は、国語、数学、音楽を一括して審議しております。

全体にかかわる意見があれば、お出しいただきたいと思います。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 国語、数学、音楽の全ての教科書に言えることですが、これら特別支援教育のための教科書は、いずれも発達に課題を持つ子どもたちが一人一人の実態に応じた学習ができるよう、きめ細かく配慮されており、子どもたちにとって有効な選択肢になると思われます。

住田委員長 他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、それではこれより特別支援教育に係る教科用図書についての採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室に移動をお願いします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、特別支援教育の教科用図書に係る最終協議及び採択については、国語、算数、音楽を一括して行います。

住田委員長 何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 意見がないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択の可否についてお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 採択をお願いします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 採択をお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 採択をお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 採択をお願いします。

住田委員長 全員採択という回答を得ました。4名の委員のご意見が一致しておりますので、採択といたしますが、これにご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

以上で秘密会を終わります。

引き続き、理科に係る教科用図書採択について審議を行いますので、もとの会場にご移動をお願いします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

理科の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員の入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 理科の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。

中村選定委員（北陽中校長） それでは、理科の教科書についてご説明申し上げます。

まず、はじめに、東京書籍「新しい科学」につきましては、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」については、写真を多数用いて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。また、目的意識を持って観察・実験を行うために、「観察あるいは実験の目的」欄が設けられている。また、結果と考察を科学的に表現することで言語活動の充実が図られるようになっています。

次に、「内容」につきましては、小学校や既習事項とのつながりが示されていること。また、4つの概念との関連性が示され、系統性を意識して学習できるようになっています。

「資料」につきましては、本文の周囲に実験結果の写真などを配置して、結果を再確認しながら結論がまとめられるような工夫が見られます。

「表記・表現」につきましては、文字の大きさが一年生が大きくなっており、小学校とのギャップが少なくなっている。また、ユニバーサルデザイン書体が使われて、読みやすくなっています。

「総括」として、巻頭で問題解決学習を踏まえた学習の流れが示されている工夫が見られています。また、単元1か所に特にじっくり探究してほしい内容を示し、探究のレベルアップを図ろうという特徴がございます。

次に、大日本図書「新しい科学」につきましては、まず「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」については、原理や法則の理解を深めるためのものづくり、継続的な観察、自然体験や科学的な体験、さらに日常生活での体験等の活動を重視しています。

「内容」につきましては、生徒個人の主体的な探究のために、「思いだそう」が設定されています。

「資料」につきましては、実験のまとめは、写真、イラストで示してあり、その間に解説があり、思考の流れに沿って書かれている。「トピック」、「くらしの中の理科」、「発展」、「プロフェッショナル」など、身近な科学や、科学と進路との関連を示し、写真などを使い、興味・関心を高める工夫が見られます。

「表記・表現」につきましては、ふりがなやコラムの書体にはユニバーサルデザイン書体を使用しております。吹き出しの改行位置が文末や単語で区切られ、読みやすくなっております。

「総括」として、単元の見通しを持つことや、課題をつかみ、観察や実験をすること、観察や実験の結果をもとにしたまとめ方を紹介する工夫が見られます。

続いて、学校図書「中学校科学」につきましては、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、観察・実験の課題は、クエスチョンマークで示し、目的をはっきり意識できるようになっています。また、「結果」と「考察」を分けて示すことで、その違いを意識させる工夫が見られます。

「内容」につきましては、単元の初めに「これまでに学んできたことをチェックしよう」があり、また、章のはじめでも、具体的な既習事項が確認でき、これから学ぶ内容との関連性を意識させ、系統性がわかるよう工夫されています。また、単元末には、「学習のまとめ」、「単元末問題」があり、問題演習を通じて復習ができ、知識の定着を促す工夫があります。

「資料」につきましては、章の1ページ目には、この章での課題と、「これまで学んできたこと」として既習事項の確認が記載されています。また、「科学の窓」には、これまで学習した内容と日常や社会との関連性について記載するという工夫がございます。

「表記・表現」につきましては、学習内容の見出しには三角の記号がつけられており、把握しやすい工夫がされています。文字や図はユニバーサルデザイン化に配慮したつくりになっています。

「総括」として、巻頭で「観察・実験の進め方」が示されており、生徒が目的意識を持って観察・実験に取り組めるようになっている。既習事項を活用する問題や、理由を言葉や図で説明する場面では、「活用」「表現」マークが設けられています。

引き続いて、教育出版「自然の探究 中学校理科」につきましては、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」については、観察・実験の前には「話し合おう」、「考えよう」が設定され、仮説や予測の設定、実験計画の立案などが円滑に行われるようになっています。また、「結果」と「考察」を分けて示すことで、その違いを意識させる工夫がされています。

「内容」につきましては、単元の初めに「学んでいくこと」が示され、既習内容、他学年との関連性も示されています。気づき、思考の接続が図られるように「思い出そう」というマークで既習事項を示す工夫がされています。また、章ごとの要点チェックとして、「基礎・基本問題」「活用・応用問題」が設けられています。

「資料」につきましては、巻頭にある「理科学習の進め方」には、課題意識の持ち方や実験・観察の方法などがイラストを使って示されています。「ハローサイエンス」のコーナーでは、生活にかかわる科学や発展的内容などについて、写真とともに詳しく解説しており、興味・関心を高める工夫がされています。

「表記・表現」につきましては、重要語句については太字の赤色で記載されています。ユニバーサルデザイン化として、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用しています。

「総括」として、巻頭で理科学習の進め方を載せ、探究活動を一連の流れに沿って展開できるように示しています。また、探究の過程を示し、目的意識を持てるようにしています。「学んでいくこと」「思い出そう」では、小中の一貫性を図るため、これまでの学習とこれからの学習を説明しております。

最後に、啓林館「未来へひろがる サイエンス」につきましては、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」については、「学習課題」「考察活動」「観察・実験」「考察活動」「本文による一般化」と展開し、順序立てて見通しを持ちながら考える力、論理的に考える力、判断する力が養えるようになっています。

「内容」については、小中の連携に関わる系統性を重視し、単元のはじめに振り返りができるようにしています。観察・実験においては、目的意識を持って取り組めるよう「目的」が設定されています。また、「マイノート」では、基礎基本の十分な習得を目指し、読んで考えて書き、実際に活動できる、理解できるような工夫がされています。

「資料」につきましては、「サイエンストラベラー」で学習した内容に関連する地域の特産や観光地などについて触れ、興味関心を引く工夫がされています。また、「マイノート」にもカラーのイラスト写真を使い、生徒がまとめられるようになっています。

「表記・表現」については、課題にはクエスチョンマークがあり、また具体的に考える視点について、「考えてみよう」という見出しで課題が明確になるように工夫されています。色覚の個人差を問わないように、カラーユニバーサルデザイン化に配慮されています。

「総括」として、巻頭で課題解決の流れを示し、見通しを持つ力、論理的に考える力、判断する力が養えるようにしています。また、ICTを活用する中で、他者の意見を聞きながら、表現力、提案力を高められるような工夫がされています。

推薦する教科書でございますけれども、東京書籍の「新しい科学」は、巻頭で科学的に探究していく方法やその課題が明確で、理科の学習の進め方がわかるようになっているという理由で、また学校図書の「中学校科学」は、巻頭で「観察・実験の進め方」が示され、学習指導要領の目標である、生徒が目的意識を持って観察・実験に取り組めるようになっている。また、学習内容と関連する日常場面を紹介する工夫があるという理由で、越谷市立中学校の実態に適していると考え、推薦いたします。

住田委員長 ただいまのご報告について、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いします。

まず、私からですが、主体的に観察・実験に取り組ませるため、学習過程にはどのような工夫がなされているでしょうか。

中村選定委員（北陽中校長） 各社とも巻頭で学習の進め方を示しており、実験・観察の進め方を説明しております。また、探究の流れを説明し、主体的な学習の仕方を身につけさせる工夫が見られます。その中でも東京書籍は特に重点的な課題などを示し、メリハリが見られます。

住田委員長 続きまして、小中の学習の連続性あるいは系統性にはどのような工夫がなされているでしょうか。

中村選定委員（北陽中校長） 各社とも、単元の導入に既習事項、これまで学んできたことの確認を扱っております。

住田委員長 それでは、基礎・基本の確実な定着を図るためにはどのような工夫がなされているでしょうか。

中村選定委員（北陽中校長） これも各社とも単元の初めに、「これまで学習したことの復習」を示し、また単元の終わりに「学習内容の整理」あるいは「単元末問題」という形で、基礎・基本の定着を目指す工夫が見られると思います。

住田委員長 他にはどなたか。

堀川委員。

堀川委員 興味・関心、意欲を高めるために、特に単元の導入部分にはどのようなことが見られますでしょうか。

中村選定委員（北陽中校長） 東京書籍と教育出版、啓林館は、身近な事象や現象を示し、疑問の

提示をしております。学校図書と大日本図書は、既習事項との関連で、これから学ぶこととの関連づけをする工夫がございます。

住田委員長 他にはどなたか。

堀川委員。

堀川委員 防災教育、特に竜巻については、どのように扱われておりますでしょうか。

中村選定委員（北陽中校長） 防災教育につきましては、二年生の「天気とその変化」で竜巻等について、各社とも取り扱っております。中でも学校図書は、越谷で発生した竜巻を取り上げております。

防災教育につきましては、三年生の「自然と人間」という単元でも扱っており、各社とも自然の恵みと災害という内容で取り扱っております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑のほうを終わります。

選定委員の退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「資料」についての質問等にもありましたが、特に授業のはじめにおいて、生徒の関心や意欲を高めるための「写真や身近な事物等の取り上げ方」について協議したいと思います。

先に私のほうからですが、東京書籍は、全体に写真が大きく、色も鮮やかです。被写体の細かな部分がわかりやすいように感じました。例えば三年の42ページに、酸性、中性、アルカリ性の水溶液の性質を調べる表がありますけれども、リトマス紙などの色の微妙な違いまで見やすく扱っているのが印象的でした。

それから、学校図書は、見開き2ページにわたりダイナミックな写真を掲載して、興味・関心を高めるようにしています。

それから、二年の269ページには、2013年に越谷で起こった竜巻の写真が載っています。

それから、裏表紙の内側の特別記念物、天然記念物が、裏表紙の内側ですけれども、現在は春日部市になっていますけれども、牛島の藤が取り上げられております。

他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 他に、大日本、教出、啓林館なども、見開き2ページに1つから3つの写真を掲載して、興味・関心を高める工夫がされていると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長、どうぞ。

吉田教育長 学校教育では、基本理念である生きる力を育むために、実社会や実生活の中で既習の学習あるいは技能を活用しながら、課題を自ら発見して、主体的、行動的に考え、表現していきける学び、これが重視されております。そこで、先ほど出ています身近な事物、現象を取り上げるということになるわけですが、この点については選定委員から、あるいは今、皆様からもありましたけれども、各社とも工夫がされております。

ちなみに学図二年ですけれども、これでは220ページと230ページにあるように各章ごとに既習事項が示されており、218ページには、これから学ぶこととして実生活とのかかわりが出ていますけれども、真ん中辺に、「天気は季節によって変化し」というようなことで、それぞれの天気はどのようにしてもたらされ、私たちの生活にどのように関わっているのかというように、身近な生活とのかかわりということが出ております。

また、先ほど委員長さんからもありましたけれども、87ページに「科学の窓」ということで、家庭の電気配線の仕組みというのが載っています。これでは電気製品のつなぎ方、並列でやっているのだというようなこと。それから、ブレーカーの働き、こういうものも取り上げて、さらに270ページでは、関連する職業、どんなものがあるか、こういったものを取り上げるなどして、日常生活とのかかわりを通して科学を学ぶことの大切さを実感できるような工夫がされているというように思います。

住田委員長 では、次に調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」についての質問等とも関係しますけれども、学習に見通しを持たせ、学習意欲を継続させるための「学習過程の設定や説明」について協議したいと思います。

私のほうからですが、東京書籍や教育出版は、一年生の巻頭に学習過程のモデルを示しています。また、学校図書は、毎時間の課題を明確に示しています。また、教育出版の「話し合おう」というコーナーや啓林館の「考えてみよう、話し合おう」のコーナーでは、実験などの予想を引き出そうとする工夫がなされているように思われました。

その他、啓林館では、別刷りのマイノートにおいて、考察欄に書き出しの文やキーワードを紹介しています。

他にはどなたかございますか。

堀川委員。

堀川委員 学習過程の構成については、各社とも5段階で設定されています。その中で、東京書籍、大日本図書、学校図書は、実験後の考察やまとめを重視しております。一方、教出と啓林館は、実験の前の予想を重視した構成となっているようです。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点、「内容」についての質問等とも関連しますが、基礎・基本的な事項を確実に定着させるための「学習問題や演習問題の扱い」について協議したいと思います。

それで、私のほうから言わせていただきますが、東京書籍、それから大日本図書、学校図書は、单元ごとに「学習のまとめ」を2ページ、「演習問題」を2ページ設けているのに対しまして、教育出版は、「学習のまとめ」を2ページ、「演習問題」を4ページで、少し演習問題に力を入れているように感じました。

他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 啓林館は「学習のまとめ」2ページのほかに、別刷りの「マイノート」で「演習問題」12ページ分が用意されております。

住田委員長 他にはございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他にないようですので、それではこれより理科の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へ移動をお願いします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、理科の教科用図書の採択に係る最終協議を行いますが、何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 学図でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 学図でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 学図でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 学図でお願いします。

住田委員長 それでは、4人全員のご意見が一致しておりますので、学図に決したいと思います。

ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き、音楽に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

音楽一般の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 音楽一般の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。

多田選定委員（武蔵野中校長） それでは、音楽一般の教科書についてご説明させていただきます。

はじめに、教育出版につきましてですが、まず観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて」ですが、歌唱、器楽、創作、鑑賞の各活動がバランスよく取り入れられています。特に創作のための音素材や活動手順が記されており、それらを手がかりに活動できるよう構成されています。短時間でも創作を扱えるように構成されています。(2) 鑑賞教材については、楽譜及び解説が詳しく掲せられており、聞く際のねらいや楽曲についての情報が豊富に記されています。ねらいに沿って授業者が取り扱える構成になっています。(3) 音楽文化の理解のためには、音楽の特色や文化的・歴史的背景が分かりやすく分類して説明されており、関連写真も多数掲載されています。

観点2「内容」について、(1) 学習の連続性・系統性につきましては、前学年までの学習を活用できる題材の配置になっております。また、歌唱と鑑賞、創作と鑑賞といった相互の関連性についても、分かりやすい表記がされています。(2) 基礎・基本の定着のためには、それぞれの教材で押さえるべき「共通事項」について、参照のページが設けられており、その都度、確認しながら学習することができる構成です。鑑賞については、楽譜及び解説が詳しく、曲の構成を理解しながら鑑賞できる内容です。

観点3「資料」について、学習効果を高めるためには、歌唱教材では写真や挿絵等が曲の情景をイメージできるよう構成されています。鑑賞においても、楽譜や演奏風景の写真が多用され、特に楽譜は音楽の構成や形式もわかりやすく載せてあり、理解しやすい構成になっています。

観点4「表記・表現」について、(1) 文章表現、ページ端の色分けの処理など、生徒にとって見やすく、理解しやすい構成です。(2) 楽譜が見やすく配置されており、「共通事項」の内容は色分けされています。記号など参照箇所も紙面右側に大きく表示されており、学びのポイント

が明示されております。ユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっております。

観点5「総括」として、(1) 学力向上・学習の充実のために全学年の学習内容が「音楽の要素を捉えながら」、「さまざまな音楽文化」、「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つに分けて色分けされており、グループでの話し合い等、さまざまな言語活動の充実も図れるよう構成されております。特に巻末の「歌のアルバム」の選曲が発達段階に沿ったもので、学習意欲を高められる教材選択になっております。(2) につきましては、自らの郷土に目を向けさせ、学習を深める構成になっております。諸外国に伝わる音楽については、国際理解の視点に立ち、他国を尊重する態度の育成につながるよう説明がなされております。また、グループで表現したり、話し合いながら学習活動を進められる学習内容も設定されております。

教育出版に関しましては以上でございます。

続きまして、教育芸術社についてご説明いたします。

観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」に関しましては、(1) 歌唱・器楽・創作・鑑賞の各活動がバランスよく取り入れられております。また、一つの題材の中で歌唱と器楽、鑑賞と歌唱を関連づけて学習し、幅広く音楽活動が行える題材で構成されております。(2) 日本文化を題材とする鑑賞の学習では、体験を通して習得できるような構成になっております。(3) 歌唱教材については、発達段階に応じた選曲がなされており、曲の構成を学習する項目もあり、楽曲の特徴やよさを生徒自らが感受できるよう構成されております。

観点2「内容」についてですが、(1) 学習の連続性・系統性につきましては、既習事項が次の学年の学びにつながるよう構成されております。また、教科書のはじめのほうに音楽マップを載せることで、歌唱と鑑賞、創作と鑑賞といった相互の関連性がわかる構成になっております。次に、(2) 基礎・基本の定着のためには、創作活動において和音構成音を意識しやすい題材が使用されているとともに、音の動きなども目でわかるように提示されております。

続きまして、観点3「資料」に関して、学習効果を高めるためには、吹き出しで、その楽曲の特徴や気づいてほしいところなどを語りかけるような形で掲載されております。また、歌唱教材は、写真や挿絵で曲の情景が理解しやすいよう構成されており、特に長唄に関しては、音高を線で表現することで、微妙なニュアンスを感じ取ることができるよう構成されております。

続きまして、観点4「表記・表現」について、発達段階に応じた文章表現が取り入れられており、記号や用語の表記も丁寧で、参照箇所なども細かく表記されております。シンプルなデザインと視覚的に優しいフォントが採用されており、ユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっております。

観点5「総括」といたしまして、(1) 学力向上、学習の充実のために、全学年とも教科書の冒頭に「音楽マップ」を提示し、系統的な題材、題材に即した教材、そしてそれぞれの関わりを示しております。「話し合う」「書く」活動を多く取り入れられる紙面も用意されております。(2)

また、我が国の音楽文化のよさを感じ取り、日本人として誇りが持てるように、全学年を通して「日本の音楽」に関する題材が設定されております。一方、諸外国に伝わる音楽についても取り上げられており、国際理解の視点に立ち、他国を尊重する態度の育成につながるよう説明がなされております。グループで表現したり、話し合いながら学習活動を進められる学習内容も設定されております。

以上、総合的に考えて、教育出版と教育芸術社が、学びやすく、分かりやすいという理由で、越谷市立中学校の実態に適合していると考え、教育出版と教育芸術社の2社を推薦いたします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員からのご回答をお願いいたします。

どなたかございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 我が国の音楽文化について理解を深めるためにどのような工夫が見られるでしょうか。

多田選定委員（武蔵野中校長） まず、教育出版のほうですけれども、一年生、二年、三年上下、3冊とも、歌詞のイメージを膨らませる自然の写真が豊富に掲載されており、歌詞の情景を理解できるよう工夫されております。日本の歌の題材です。

また、「ソーラン節」それから「こきりこ節」の音楽や、こきりこの打ち方が掲載されており、民謡の節回し、文化を体験しながら学ぶことができる構成になっております。我が国の生活とともに生まれてきた音楽について理解を深められる工夫がなされております。

教育芸術社のほうですが「長唄」それから「能」の教材では、模範演奏をまねて歌唱する構成になっており、体験を通して、声の音色、節回しなどに着目し、その特徴を感じられるよう工夫されております。

住田委員長 他にありますか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 歌唱、創作、鑑賞の指導事項と共通事項との関連について、どのような工夫がされているでしょうか。

多田選定委員（武蔵野中校長） はじめに教育出版に関してですが、教育出版のほうでは、3つの柱ということで、「音楽の要素を捉えながら」、「さまざまな音楽文化」、「歌い合わせ聴き深める喜び」、それぞれにおける指導事項の中で共通事項(1)のAとの強い関連性を持たせております。歌唱教材では、「共通事項」のイ、記号や用語が目立つように取り上げられており、それらが曲の中でどのような働きをしているか考える工夫がなされております。

教育芸術社のほうですが、例えば二・三年生の上に出てくる「翼をください」、それから一年生の中では「主人は冷たい土の中に」のような曲の中で曲の構成を考える内容になっており、旋律、

リズム、テクスチャの要素を考えながら表現していくよう工夫されております。

また、各題材の題名の部分、「学習の窓口」と題した記号を表示させており、これによって指導事項と共通事項の関連を明示しております。

また、冒頭の「音楽学習MAP」により、強い関連性を持つ部分をはっきりと図示しております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 先ほどのご説明の中にも少しあったかもしれませんが、言語活動の充実を図るためにどのような工夫がされておりますでしょうか。

多田選定委員（武蔵野中校長） はじめ、教育出版のほうでは、特に創作のページでは「音のスケッチ」という欄を設けて、リズム創作、日本のメロディーづくり等、いずれの教材においても「グループでの話し合い」それから「相互発表会」など、言語活動の充実を図る工夫がなされております。

教育芸術社のほうでは、「ここが分かればGrade up!」という項目の中で、曲の構成、強弱記号などについて、生徒自身の言葉でまとめ、発表させるという工夫がなされ、また「Let's Create!」という欄では、打楽器の楽譜とワークシートに線状の楽譜で表現させ、グループで話し合わせる工夫がなされております。

住田委員長 他にはございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑を終わります。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「総括」についての質問等とも関連しますけれども、「思考力、判断力、表現力等を育てる工夫」について協議したいと思います。ご意見ををお願いします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出は、48ページの「どんな特徴があるかな？」のように、音楽を形づくっている要素を感じ取って聞き、言葉で説明するという構成になっています。

教芸は、「ここが分かればGrade up!」というコーナーを設け、教材曲をさらに深く学習する、内容を深く学習することにより共通事項への理解を深められるようになっていきます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 鑑賞の学習の中で言語活動を充実させるための工夫としては、教出は「伝えてみよう」というコーナーで、気に入ったところやよかったところを選んだ理由などを発表するようなコーナーを設けています。

また、教芸は、「ここに注目してみよう」のコーナーを設けて、鑑賞のポイントを具体的に示すことによって生徒の表現活動をサポートしています。

住田委員長 次に、調査の観点、内容に関連して、楽曲への理解や学習活動をより深めるための工夫について協議したいと思います。

楽曲への理解を深めるための紙面上での具体的な工夫について何かあるでしょうか。

櫻田代理、どうぞ。

櫻田委員長職務代理者 教出では、歌唱共通教材のページで、作曲者や作詞者の思いや意図を「A Message For you」として示しています。また、創作学習では、「音のスケッチ」を設けて、最初の段階でリズムを創作した後、旋律創作を行うなど、創作活動を系統的に学習できるように工夫されています。教出は、創作に関してはとても特徴があると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 教芸は、歌唱共通教材ページで、写真や縦書きの歌詞、作詞者や作曲者の言葉を掲載しています。創作学習では、「My Melody」や「Let's Create!」を設定して、基礎的な内容から発展的な内容でグループで学習ができるように工夫されています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 学習の狙いとの関連で言えば、教出は鑑賞の学習で共通事項に基づく狙いが明記されており、教芸では教材ごとに共通事項に沿った学習の狙いが「学習の窓口」として、わかりやすくまとめてあります。

教芸の目次の次の見開きの部分、「音楽学習MAP」というところの右側のページの一番下に「学習の窓口」というのがあって、そこに共通事項が示されているのですが、これが例えば46ページ、これは「ソーラン節」ですけれども、一番上に、音や音楽の特徴を感じて歌おうというので、マークや記号で、音色とか旋律が少しずつ区切って示されています。この「ソーラン節」をやるときに、「ソーラン節」と書いてある下に、模範演奏をよく聞きとか、旋律を少しずつ区切ってとかというふうにございますけれども、民謡の鑑賞と「ソーラン節」の歌唱とを組み合わせ、創作あるいは歌唱、鑑賞の系統的な学習ができるように工夫されているというふうに思います。

住田委員長 他によろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点、内容及び資料に関連して、教科書全体の構成について協議したい
と思います。

ご意見ございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 取り上げられている楽曲を見ると、2社とも大変工夫されていて、さまざま
なジャンルの楽曲が収録されています。教出のほうは、やや長目の曲が多いような印象があり
ます。教芸のほうは、伴奏付きの楽譜が多くて、生徒みずから弾いたり歌ったりと学習できるよ
うな形になっています。

住田委員長 他にはございますか。

堀川委員。

堀川委員 全体のページ数は、教出のほうは教芸よりもやや多くて、紙面の印象も教出のほうは、
情報量が多いように見受けられました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 収録されている鑑賞教材の数は、教芸のほうは教出よりも多いです。教出
は豊富な情報を特色としていて、教芸は精選された情報を特色としていえると思います。

教出のほうは、曲の情報やイメージを膨らませるためにさまざまな写真など、さまざまな工夫
がされています。教芸のほうは情報の内容が大変充実していて、より音楽的に味わうとか、音楽
的なアプローチをするなど、授業に大変有効ではないかと思っております。

住田委員長 他に協議したい事項ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより音楽一般の教科用図書採択に係る最終協議及び
採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動をお願いします。

なお、秘密会の後、休憩を挟み、次の種目の審議については11時に再開することといたしたい
と思います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、音楽一般の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見ございま
すでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 4人の委員のご意見が一致いたしましたので、教芸に決したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決します。

以上で秘密会を終わります。

◎休憩の宣告

住田委員長 次の種目の審議の再開まで、しばらく休憩願います。

休憩 午前10時42分

再開 午前11時00分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

音楽の器楽合奏の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 音楽の器楽合奏の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

多田選定委員（武蔵野中校長） それでは、器楽合奏の教科書についてご説明させていただきます。

はじめに、教育出版についてですが、観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」ですが、題材に関連する鑑賞曲が紹介されており、器楽表現と鑑賞とを関連づけて学習できるよう構成されています。曲数も多く、難易度の低いものから高いものまで幅広く、生徒の実態に合わせて指導できるよう構成されています。楽器の扱い方、奏法の特徴、ギターの弦の押さえ方等、写真を活用しながら説明されており、生徒自身が自ら奏法を確認できるよう構成されています。

次に、観点2「内容」に関してですが、リコーダーの運指の学習で、アルトリコーダーだけでなくソプラノリコーダーの運指を掲載し、小学校で学習した知識を生かせるように工夫されています。音の出し方、タンギングの仕方、ギターの手左の移行など、練習を進めていくことにより技術が身につく構成になっております。発展的な教材として、アンサンブルの練習曲が多く掲載されており、生徒の進度に合わせることができるよう構成されています。また、さまざまな楽器の奏法のアップ写真が多く、基本的な奏法について説明されています。ギターのコードの押さえ方も写真つきで巻末に掲載されており、それを使って学習できるよう構成されています。

観点3「資料」についてですが、奏法の写真や手元のアップ写真があり、奏法の細部まで意識して演奏することができるように工夫されています。それぞれの楽器のプロの奏者からの言葉が、楽器のタイトルのページに、三味線ならば「弾いてみよう」、尺八ならば「吹いてみよう」というような形で掲載されており、学習効果を高める配慮がなされています。ギターの学習では、巻末にコード表とともにそれぞれのコードを押弦した左手の写真が掲載されています。

観点4「表記・表現」についてですが、発達段階に即した文章表現がなされています。楽器・分野ごとにページ端を色分けする工夫がなされています。その他、楽譜が見やすく配置されています。また、各楽器の奏法についての挿入写真は適切であり、特に「ギターコードの押さえ方」「太鼓の奏法」など、生徒が主体的に学習できる構成になっています。見出しの色分けにより学びのポイントも示されていたり、見やすいユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっています。

観点5「総括」といたしまして、学力向上・学習の充実のために、習得・活用に向けて基礎的な教材から発展的な題材へと段階を追って学習できる構成になっています。また、アンサンブル教材もさまざまな話し合い活動の充実が図れるよう工夫されています。また、「日本の楽器と音楽」についての解説が充実しており、自らの郷土に目を向け学習を深められる構成であり、特に和楽器については、横笛の製作方法を載せるなど、生徒の興味・関心を高める構成になっています。諸外国に伝わる音楽については、国際理解の視点に立ち、他国を尊重する態度の育成につながる説明がなされています。また、グループで表現したり話し合いながら学習活動を進められる内容を設定されています。

以上、教育出版のご説明でございます。

続きまして、教育芸術社についてご説明いたします。

観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」ですが、楽器の奏法を学ぶとともに、その楽器や奏法を用いて短い節を創作するなど、器楽表現と創作とを関連づけて学習し、音楽への興味・関心を引き出すよう構成されています。また、打楽器の奏法のページが設けられてあり、学校にある教具や手拍子を活用し合奏が楽しめるような題材内容が取り上げられています。アルトリコーダーでは、くわえ方や息の使い方など、よい例と悪い例を示し、生徒自身でも奏法を

確認できるよう構成されております。

観点2「内容」についてですが、リコーダーでは、「ラバースコンチェルト」や「われは海の子」など、学習やアンサンブルで小学校での既習の楽器を使用するなど、小学校での学習が活かされるように構成されております。リコーダーについては、簡単な楽曲で楽器になれさせ、次にアーティキュレーションについて学ぶことができるため、技能の定着を図ることができる構成になっています。また、よくあるつまずきなどはQ&Aの形で解説があったり、奏法についてもさまざまなアングルの写真を使ってまとめられております。

観点3「資料」に関してですが、リコーダーにおいては、その曲の音域が表記され、臨時記号の音も表記されております。また、さまざまな打楽器の基本的な奏法や練習曲が掲載されており、初めて打楽器を演奏する生徒も容易に取り組むことができる構成になっています。

観点4「表記・表現」に関してですが、発達段階に応じた文章表現が取り入れられています。記号や用語の表記も丁寧で、随所にポイント解説も表記されております。シンプルなデザインと視覚的に易しいフォントが採用されており、ユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成となっております。

最後に、観点5「総括」ですが、冒頭に「音楽学習MAP」を提示し、系統的な題材、題材に即した教材、そしてそれぞれの関わりがわかりやすく表示されております。各楽器の習得を超えて、学びのつながりや深まりが得られる構成になっています。生徒に「話し合う」「書く」それぞれの活動ができるよう多く取り入れられる内容も見られ、学力向上・学習の充実のために工夫がなされております。特に打楽器について詳しく取り上げられており、さまざまな打楽器について奏法を紹介しております。また、我が国の音楽文化のよさを感じ取り、日本人として誇りが持てるように、「日本の音楽」に関する教材が設定されております。諸外国に伝わる音楽についても取り上げられており、国際理解の視点に立ち、他国を尊重する態度の育成につながる説明もされています。また、グループで表現したり話し合いながら学習活動を進められる内容も設定されております。

以上、総合的に考えて、教育出版と教育芸術社が生徒の活動を保障できるという理由で、越谷市立中学校の実態に適合していると考え、推薦いたします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いします。

どなたかございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 小中一貫教育の視点はどのようなものがあるのでしょうか。

多田選定委員（武蔵野中校長） 教育出版のほうですが、小学校で使っていたソプラノリコーダーでも演奏できる曲を載せ、アンサンブルもできる、そのような配慮がなされているので、小学校

からの学びを継続できる構成となっております。

教育芸術社に関しましては、小学校で行った器楽合奏で用いた打楽器を使った練習曲を多く取り上げております。

住田委員長 ほかにはございますか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 さまざまな楽器の演奏法の説明にどのような工夫が見られるでしょうか。

多田選定委員（武蔵野中校長） 演奏法の説明に関するものは、教育出版では、とにかく一つ一つの写真が大きく見やすいということ。それから、さまざまなアングルからの奏法の紹介があり、正しい奏法を確認することができるというところが工夫かと思われま。

一方、教育芸術社のほうですが、特に打楽器の奏法を詳しく載せてあります。打楽器アンサンブルを行うにあたっては取り組みやすい内容となっております。

住田委員長 ほかにはございますか。

堀川委員。

堀川委員 特色ある写真や資料などはありますか。

多田選定委員（武蔵野中校長） 教育出版のほうでは、巻末に載っているギターコード表、これが非常に見やすい、使いやすい工夫がなされております。手で押さえた写真が載っていますので、その手の形をまねさせて押さえるというような使い方ができるかと思ひます。

あと、特色あるところでは、横笛を製作してみようということで、自分でつくったものを演奏するという生徒の興味・関心を高める工夫がなされております。

一方、教育芸術社のほうですが、打楽器に関して非常に詳しく一つ一つの奏法を載せてあり、それを使って練習ができるという工夫がなされていると思ひます。

住田委員長 ほかにはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑のほうを終わります。

選定委員の退出をお願いいたします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」についての質問等及び「総括」に関連して、「思考力、判断力、表現力等を育てる工夫」について協議したいと思います。

ご意見をお願いします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出は、各楽曲に「演奏のポイント」など表現を工夫して演奏するための具体的な問いが示されており、生徒が主体的に学習できるように工夫されていると思ひます。

住田委員長 ほかにはどなたか。

堀川委員。

堀川委員 教芸は、学習のヒントとなる「演奏のポイント」、「音を聴いて確かめよう」など、演奏を工夫して学習するための助言が吹き出しなどによって示されております。曲の構成を共通事項と関連させながら学習することができるように工夫されています。

住田委員長 ほかにはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、続きまして、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」についての質問等とも関連しますけれども、音楽文化、特に「我が国の音楽についての理解を深める工夫」について協議したいと思います。

和楽器の取り扱いについて、何か気づいた点等ございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出は、和楽器の学習を重点的に取り上げながら、リコーダーや諸外国の楽器の習得を通して、双方の音楽文化について関心と理解を深められるようになっています。

住田委員長 ほかにはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 教芸は、我が国の伝統音楽の学習に重点を置いて、平易で取り組みやすい教材の学習を通して、「さくらさくら」や「たこたこあがれ」、「夕焼け小焼け」などがありましたけれども、生徒が主体的に親しみながら理解が深められる構成になっています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 越谷では和楽器は琴を弾く学校が多いと思うのですがけれども、琴についてはどちらの教科書もたくさん充実して載っております。教芸では8ページにわたって、そして教出では10ページにわたって写真入りで詳しく載っておりますので、どちらを使っても大変使いやすくなっていると思います。

住田委員長 他によろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点、「内容」及び「資料」についての質問等とも関連しますけれども、「基礎的な知識や技能を習得させる工夫」について協議したいと思います。

各教科書の構成上の特色としてどのようなものがあるかというようなことはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 教出は各楽器の構造などが写真やイラストではっきり示されており、楽器の構え方や奏法など、見やすく説明されております。

住田委員長 他にはございますか。

堀川委員。

堀川委員 教芸のほうも各楽器の構造や各部の名称を写真や図を用いて、わかりやすく学習できるようになっています。

住田委員長 他に協議したいことはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより音楽の器楽合奏の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室にご移動願います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、器楽合奏の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 教芸でお願いいたします。

住田委員長 4名の委員のご意見が一致しておりますので、教芸に決したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

以上で秘密会を終わります。

引き続き、美術に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動お願いします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

美術の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 美術の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いします。

黒須選定委員（大相模小校長） それでは、美術科の教科書について説明させていただきます。

まず、開隆堂につきまして、観点1「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」でございますが、題材が系統的に幅広く配列され、学習の内容が偏りのないような工夫がされていたり、題材の目標と発想を引き出すポイントが具体的に示され、主体的に学んだり、創造活動の喜びが味わえるように工夫されています。各題材のページの最後に「ふりかえり」が示され、生徒が自らの学習を評価したり確認したりすることができ、学習内容の確実な定着を図っています。鑑賞の視点が具体的に示され、生徒の自主的・自律的活動を促し、鑑賞の学習をより深められるように工夫されています。

観点2「内容」についてでございますが、「美術1」においては、「表現の広がり」や「写し取られる形」などの題材が取り上げられており、内容的に小学校の造形遊びとの関連が意識されています。その他の内容においても、描く・つくる、ともに小学校での学習内容を踏まえた題材設定がなされております。「美術2・3」では、はじめに、「美術はいつも生活や暮らしの中に」で、現在の生活との関連に触れ、巻末では「生きることと美術・命・世代の継承責任」のページで「社会の課題」「共生していくこと」について意識を持たせるようにしております。

観点3の「資料」についてでございますが、生徒の多様な活動の様子や、その時の想いやつぶやきを紹介しております。「緑の枠」や「画鋸の枠組み」などの中で、言葉かけや生徒の作品をたくさん提示することで、生徒の発想を広げられるように工夫されております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるように、それぞれの題材ページに基礎・基本的な資料が囲み枠で記載されております。鑑賞のきっかけとなる問いかけなど、マークや吹き出しもわかりやすく提示されております。「道具箱」「パレットコーナー」「色彩ホームページ」などの項目を設け、制作活動に必要な知識や技法・安全についてまとめて、系統的に示しております。

観点4の「表記・表現」についてですが、生徒がイメージを膨らませ、関心・意欲が高められるように、豊かな表現の題材名と分かりやすい具体的な副題で表記されています。個々の作品の解説文として示された「生徒の言葉」は作品理解に役立つように配置され、作品を掲載した意図が伝わるように工夫されております。

観点5の「総括」についてですが、「ふりかえり」が各学年の各題材の最後に設定されており、4つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら学びを確認できるように配慮されております。「光で空間を演出する」などプロジェクションマッピングなどのデジタルカメラやタブレット

コンピュータ等のＩＣＴ機器を用いた作品も掲載されております。

続きまして、光村でございますが、観点１「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」でございますが、題材名とともに目標を表記し、生徒に身に付けさせたい力が明確に示されており、生徒の自主的・自律的な活動を促すように工夫されております。また、目標の横にチェック欄が設けられており、生徒が自分の学習についてのふりかえりができ、到達度も確認できるようになっております。目標の下には「共通事項」に関する問いかけもあります。題材の内容に関連した作品を表示し、表現と鑑賞との関連を図っており、発想や構想の場面でイメージを膨らませたり、表現方法に着目させたりするような鑑賞の学習に取り組むことができます。鑑賞のページでは、作品と詩を掲載し、生徒の心に働きかけ、内面や本質を見据えて、「よさや美しさ」を捉え、鑑賞をより深めるよう工夫されています。

観点２の「内容」については、「美術１」の巻頭見開きページで、「美術の始まり」から「図画工作」、そして「美術って何だろう」の流れが示されており、表現・鑑賞活動の段階的発展を説明しております。「美術２・３」の巻頭では、「朝起きてから夜眠るまでの美術」で身近な美術を意識させ、その巻の巻末では、「中学校美術、最後の時間に」で今までの学習のふりかえりを意識させるようにしております。

観点３の「資料」については、生徒が発想したり制作活動をする際のきっかけとなる言葉を吹き出しに提示し、作者の言葉を載せることで鑑賞のヒントとなるように工夫されております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるように題材ごとに作品の写真を多用し、さまざまな角度から作品を紹介しております。鑑賞のヒントとなるような問いかけや心情マークなどでわかりやすく提示されており、道徳のつながりも示されております。また、制作活動に必要な知識や技法・安全についてまとめて系統的に示されております。

観点４の「表記・表現」については、目標や発想・構想のヒント、道徳との関連、巻末資料へのリンクなど、マークを使って分類・表示されており、見やすく学習しやすくなっております。タイトルのつけ方は、題材の内容がわかりやすいものになっており、題材ごとに身に付けたい力を「目標」として示されております。各題材だけでなく、各作品にも解説があることが多く、題材を深く理解する手助けとなっております。

観点５の「総括」については、「ふりかえり」が各学年の題材の目標とともに設定されており、４つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら学びの確認ができるように配慮されております。「カメラを活用しよう」「映像メディアを活用する」デジタルカメラやタブレットコンピュータ等のＩＣＴ機器を用いた作品も工夫して掲載されております。

最後に日文ですが、観点１「学習指導要領の強化の目標とのかかわり」でございますが、題材の設定と配列は内容ごとに整理されており、生徒の学習のしやすさに配慮されているとともに、学習の内容が偏らないように工夫されております。題材名の横に４観点の学びのねらいを表記し、

生徒が目標に向かい、主体的・創造的に学習することができるように工夫されております。鑑賞と表現との関連を考えて、鑑賞の学習を表現の題材ページに示しております。独立した鑑賞を適切に設けたり、浮世絵や水墨画を掲載したページの用紙に和紙を使って、生徒の興味・関心・意欲を高める工夫がされております。

観点2の「内容」については、生徒と美術との出会いと発展を意識した構成になっており、「美術1」の巻頭では、「図画工作、そして…美術へ」のページを設け、小学校との関連を意識させています。内容においても、描く・つくとともに、小学校での学習内容を踏まえた題材設定がなされております。「美術2・3上」では、身近材料をもとにした「表現の可能性」を、下のほうでは、「夢を形にするデザイン」などを巻のテーマにして、未来や社会とのつながりを意識させております。

観点3「資料」については、生徒が発想したり制作活動をする際のきっかけとなる言葉がけをしております。ポイントの囲みや生徒の活動の様子の下に説明を加えたりして、発想のヒントとなるように工夫しております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるよう題材ごとに作品の写真を多用し、つながりや段階を分かりやすく示しております。作家の作品を多く載せて、「作者の言葉」を分かりやすく提示し、鑑賞のヒントとなるように工夫しております。「技法の資料」「色彩の資料」を設け、制作活動に必要な知識や技法・安全についてもまとめて系統的に示されております。

観点4「表記・表現」については、題材のイメージがつかみやすいタイトルと、それを深めるサブタイトルが工夫されております。生徒の作品には、アイデアスケッチや制作過程も紹介し、作者自身の言葉で発想や構想の過程、技能面の工夫が述べられており、表現や鑑賞の言語活動への働きかけに効果ができるように工夫されております。

観点5「総括」についてですが、「学びのねらい」が各学年の題材の最初に設定され、4つの観点から生徒自身が言語活動の充実をさせながら学びを確認できるように配慮されております。写真の作品や「光と陰の空間演出」光彩などのデジタルカメラやタブレットコンピュータなどのICT機器を用いた作品が掲載されています。

以上、3社を説明しましたが、美術の選定委員のほうからは、まず開隆堂は、授業の流れに沿って展開されており、表現と鑑賞を明確に分けておらず、それぞれの題材で両者を関連させているため、授業が展開しやすいうえ、掲載されている作品や写真も大きく、生徒の作品の多くに生徒自身の言葉が添えられているため、生徒も共感をもって創作活動に入ることができる。

光村においては、題材を「表現」と「鑑賞」にきちんと分けた構成になっており、材料や技法紹介が図版等を通して多く掲載されており、発想や構想を練るための資料集としての価値が高い。そして、日文は、「絵画・彫刻」「デザイン・工芸」の分野を「表現」と「鑑賞」のページを独立して構成しており、生徒目線での発想の仕方、手順や技法を適宜紹介しており、生徒の創作活動

のきっかけとして活用しやすいという意見が出ました。

教科書の推薦でございますが、開隆堂と日文の2社を越谷市立中学校の実態に適合していると考え、推薦いたします。

ご説明及び教科書の推薦につきましては以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告について、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員からの回答をお願いいたします。

どなたかございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 生徒の発想を広げ、主体的な学習を進めるためにはどのような工夫が見られますでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） 開隆堂、光村、日文、それぞれについて説明いたします。まず開隆堂は、各題材のページに「基本的な技法や知識、または習得したい内容」、「題材に関する知識や情報」が囲み枠で分かりやすく示されており、生徒がイメージしたことを自分の表現意図に合わせて表現できる選択の幅、それから主体的に表現活動を行うことのできる工夫がされております。

光村は、巻末に「学習を支える指導」という項目がありまして、生徒が発想を広げたり、構想を練ったりする際の参考資料や材料・技法についてまとめられており、生徒自身が表現意図に合う表現技法を選択して表現活動を行い、表現の能力を高められる工夫がされております。

それから、日文についても、やはり同じように巻末に、「学習に役立つ資料」という項目として、材料や用具の扱い方、年表、世界文化遺産などを特集して、生徒が表現形式を選択して、創意工夫する態度を培うことができるような工夫がされています。

住田委員長 堀川委員。

堀川委員 生徒の作品や鑑賞作品のバランスはどのようになっているのでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） これは、3社とも生徒の作品、鑑賞作品を豊富に掲載しております。開隆堂の特質は、生徒の作品においてはページの4分の1大以上の写真がたびたび使用されております。また、原寸大の歴史的作品も紹介されており、それにより色や形が明確になり、作品の持つ迫力を感じることができます。

光村においては、生徒の作品も含めて大きな写真が活用され、鑑賞作品も部分的でございますけれども原寸大で、作品の雰囲気伝わるようになっています。

日文においては、生徒の作品が大きめの写真で同じように紹介されております。鑑賞作品は、新たな試みの和紙を使ったページで、和紙自体をその中に入れ込んでおり、色調だけでなく、感触でその違いが子どもたちにわかるようになっています。

住田委員長 他にはどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 言語活動の充実を図るためにどのような工夫が見られるでしょうか。

黒須選定委員（大相模小校長） やはりこれも3社とも、特定のページだけではなく、いろいろな部分で教科書全体を通して言語活動の充実が図られています。

開隆堂では、何度も「ふりかえり」という言葉が出ていますが、「ふりかえり」という項目が、各学年の題材の最後に設定されており、4つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら学びの確認ができるように配慮されています。

光村においては、題材の目標とともに「ふりかえり」が常に設定されており、4つの観点から生徒自身が同じように言語活動を充実させながら学ぶことができるように配慮されています。

また、日文は、「学びのねらい」が各学年の各題材の最初に設定されており、4つの観点から、やはり生徒自身が言語活動を充実させながら学びを意識できるように、または確認できるように配慮されております。

住田委員長 他にどなたか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、質疑のほうを終わらせていただきます。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「内容」についての質問等とも関連しますけれども、「学習活動を充実させるための工夫」について協議したいと思います。

ご意見ををお願いします。

堀川委員。

堀川委員 先ほどの説明の中にもありましたけれども、表現と鑑賞の関係で、開隆堂は題材を区別せずに、「鑑賞から表現、再び鑑賞」の展開が可能となるようにページが構成されており、表現と鑑賞を一体化させているという点に特色があります。それに対して光村は、表現と鑑賞のページを大きく分けて構成しています。表現についての題材では、作家の作品が大きく掲載されています。

住田委員長 他にどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 日文も、表現と鑑賞のページを分けています。表現についての題材は、生徒の作品とともに作家の作品が掲載されています。

また、デザインや工芸に関わる題材では、各社とも美術を身近な生活の中で生かすという視点

が見られます。開隆堂や日文では、題材名や副題において、美術と身近な生活との結びつきを示しています。光村は、「生活に生かそう」というアイコンで示しています。

住田委員長 他にはございますか。

吉田教育長。

吉田教育長 教科書のトータルで見るのと、また違ってくるかと思うのですが、同じような題材を扱っているところを見ると、例えば開隆堂の「美術1」の28ページと29ページ、それから光村の52ページと53ページ、これは同じような題材を扱っているところなのですが、こういうふうに並べてみると、技法についての基礎を知るであるとか、あるいは生徒が見通しを持ちやすい、さらには自己評価ができるといった点から、それぞれの教科書の生徒みずからの学習を支える工夫というのがどうなっているのかというのが見ることができるかなと思います。

住田委員長 他にはございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次の調査の観点で、「内容」及び「総括」についての質問等とも関連しますけれども、「日本と外国の文化及び伝統文化の取り扱い」について協議したいと思います。

どなたかございますか。

堀川委員。

堀川委員 開隆堂は、日本や諸外国の文化についてバランスよく伝えています。52ページ、53ページにある「ゴッホと日本」では、日本の美術が海外に与えた影響について学ぶことができます。

光村は、日本や西洋だけでなく、アジアなどのさまざまな地域の作品を取り上げています。「アジアをつなぐ仮面の舞」ということで、44ページと45ページに載っております。また、日本の国宝についてはマークをつけております。

住田委員長 他にはどなたか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 日文では、巻末の資料の中で、日本美術の展開と海外との交流について触れています。また、日本の伝統文化を受け継ぐ担い手としては、職人を取り上げています。

住田委員長 他にはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に調査の観点「資料」に関わって、学習効果を高めるための工夫についてという視点から、「巻頭及び巻末の構成」について協議したいと思います。

どなたかございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 巻頭については、3社ともに「美術って何だろう」、「図画工作から美術へ」といった小学校の図画工作との関連を意識し、美術を通して学ぶ意義について理解できるよう「オリエンテ

ーション」のページが設定されています。

開隆堂は「美術を通して学ぶ大切なこと」、光村は谷川俊太郎の「うつくしい！」という詩を載せておりますし、日文は4人の作家と作品を掲載し、それぞれ中学校美術の学習の動機づけ、意味を感じさせるように工夫されています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 一年生の教科書では、3社とも巻末に、基礎的な技法や知識について掲載されています。特に光村では、表現や鑑賞の資料として活用できるように多くのページを使っています。また、二年生、三年生では3社とも美術の歴史について学べる資料が掲載されています。

住田委員長 他に協議したい内容等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより美術の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へ移動をお願いします。

なお、秘密会の後、昼休憩をはさみ、次の種目の審議については午後1時30分に再開したいと思います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、美術の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 開隆堂でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 それでは、4名の委員のご意見が開隆堂ということで一致しておりますので、開隆堂に決したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

以上で秘密会を終わります。

それでは、昼休みをはさみまして、次の保健体育について審議を行いますので、昼休みが終わりましたら、もとの会場にお集まり願います。

◎休憩の宣告

住田委員長 それでは、昼休憩といたします。

休憩 午前 11 時 49 分

再開 午後 1 時 30 分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

保健体育の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 保健体育の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

鈴木選定委員（北中校長） それでは、保健体育の教科書についてご説明させていただきます。

東京書籍につきましては、まず「学習指導要領の目標とのかかわり」で、小中高の学習内容の系統性が明記されていること、「今日の学習」や「やってみよう」で学習の目標や課題をつかみ、学習の見通しがつかめるよう工夫されていること。また、保健分野と体育分野を学年ごとにまとめた構成となっていることが特色として挙げられます。

「内容」では、章の始めに、小中の連続性についての説明が明記されており、また、各単位時間の中にも小学校での学習をふりかえる活動が随所に取り入れられています。さらに、「他教科」との関連についても記号を用いて表記されているなど、連続性・系統性が図られています。章末に「確認の問題」、「活用の問題」、「読み物」などがあり、基礎・基本の定着と発展した内容へと取り組めるよう工夫されています。

文章の「表記・表現」では、まず、記号が大きく見やすく、表記も「やってみよう」や「考えてみよう」など、大変わかりやすい言葉で表されています。キャラクターを使って、生徒の興味・関心も高めようとしているところも工夫されています。知識を活用して学習する場面を設定し、実生活に生かせるよう工夫されています。また、自然災害にかかわる内容を多く取り入れ、防災

への意識も高められるよう配慮されています。

大日本図書につきましては、「学習指導要領の目標とのかかわり」では、各章の始めに学習の流れが提示され、見通しを持って学習できるよう配慮されています。

「内容」では、保健分野で、小学校で学んだことについて触れ、中学校への学習へとつなげています。また、体育分野と保健分野がリンクされ、横断的な学習ができるよう工夫されています。章末に「トピックス」、「学習のまとめ」が掲載され、学習内容の確認ができるよう工夫されています。教科書の本文を補足する図表や写真等の資料は大きく掲載され、視覚的理解が図りやすくなっています。学習内容と関連の深い話題や読み物を「トピックス」として掲載し、考えや理解が深められるよう工夫されています。

「表記・表現」では、本文の内容が精選されていて、記号を用いて学習展開がわかりやすくなっています。ユニバーサルデザインに配慮し、わかりやすい配色、見やすい文字や数字になっています。また、太字を用いたり、資料を大きくしたり、解説や補足でも目立つよう工夫されています。課題をつかんで学習できるように1単位時間ごとに「今日の学習課題」が明記されており、資料やイラスト、写真等を効果的に使用し、生徒の主体的な学習活動ができるよう工夫されています。

大修館書店につきましては、「学習指導要領の目標とのかかわり」では、中学生が興味・関心のある運動・スポーツに関する話題や、中学生に関わる健康問題が取り上げられており、1単位時間の始めに学習の動機づけとなる発問、「クエスチョン」が設けられています。

「内容」では、「コラム」の部分で、現在の問題に絡めた内容や日常生活で疑問に感じること等が表記されています。また、本文の見出しの表現が工夫され、興味・関心を引き出す効果が見られます。各項目の中がさらに細分化され、理解が深められ、基礎・基本の定着が図れる構成になっています。

「資料」では、図表や写真等が多く掲載され、学習内容の理解が深められるようになっています。また、吹き出しを用いて資料に読み取らせたい大事なポイントを明記し、思考・理解が深められるよう工夫されています。

文章の「表記・表現」では、本文の背景に薄い黄色の配色を用いて、本文と資料等のその他の部分がはっきりわかるよう工夫されています。また、本文の内容に各見出しや細分化した項目に番号をふって、分かりやすくしています。また、ユニバーサルデザインに配慮し、文字や数字が見やすくなっており、重要な語句には、はっきりとわかる太字を用いるなど、大変見やすくなっています。知識を活用して学習する場面を設定し、生徒が身につけた知識を実生活に生かすことができるよう工夫されています。

学研につきましては、「学習指導要領の目標とのかかわり」では、健康・安全やスポーツについての基礎・基本的な内容等、確実に習得させたい内容について、丁寧に記述してあります。話し

合いや記述、発表等を取り入れ、言語活動が重要となるものについては、言語マークをつけるなどの工夫が見られます。

「内容」は、章の始めに小中の連続性についての説明があります。また、「情報サプリー」により学習内容とのつながりのある言葉が記され、系統性が意識されやすくなっています。また、本文の全ての見出しに発問が設定されており、考える授業が展開され、思考・判断・表現力の育成が図れるようになっています。

教科書の本文を補足する図表や写真等の「資料」が多く掲載され、学習内容を分かりやすくしています。また、「情報サプリー」「プラス」「エクササイズ」等により、資料の活用を促進させることができるよう工夫されています。章の始めに学習内容にかかわる人物を写真入りで紹介し、興味・関心が高められるようになっています。

「表記・表現」では、「資料」を示す文字が白抜きで目立つようになっており、本文と関係する資料がすぐわかるように工夫されています。毎時間学習した内容を活用する場面が設けられ、思考・判断・表現力の向上が図れるようになっています。

章のまとめでは、「用語の確認」、「基礎の完成」等の問題が掲載され、基礎・基本の定着が図れるようになっています。また、防災に関するページが多く設けられ、さまざまな自然災害について生徒の意識を高めることができるよう工夫されています。

次に、教科書の推薦でございますが、大修館書店と学研を推薦いたします。

大修館書店は、本文の見出しの表現が工夫され、興味・関心を引き出す効果が見られること。各項目の中がさらに細分化され、理解が深められ、基礎・基本の定着が図れる構成になっています。また、資料では、吹き出しを用いて読み取らせたい大事なポイントを明記し、思考や理解が深められるよう工夫されています。さらに、本文の表現で、本文の背景に薄い黄色の配色を用いて、本文と資料等その他の部分がはっきりとわかるよう工夫されています。

学研では、本文の全ての見出しに発問が設定されており、考える授業が展開され、思考や判断力・表現力の育成が図れるようになっています。また、「資料」を示す文字が、白抜きで目立つようになっており、本文と関係する資料がすぐわかるように工夫されています。さらに、「情報サプリー」「プラス」「エクササイズ」により、資料の活用を促進させることができるよう工夫されていること。各章の始めとまとめに、生徒の興味・関心が高められる内容や、基礎・基本の定着が図れる工夫が数多く取り入れられていることがあげられます。

これらの理由で越谷市立中学校の実態に適合していると考え、推薦いたします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答をお願いいたします。

どなたかございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 科学的理解により獲得した知識を活用し、思考力・判断力を育てるためにどのような工夫が見られますでしょうか。

鈴木選定委員（北中校長） 各社ともに授業の始めと終わりに設問が設けられております。東書では、思考力・判断力を養うために習得した知識を活用した課題解決する活動として、「考えてみよう」が取り入れられています。

大日本図書では、章単位の始めに「学習を活かして」という項目や、章末資料で習得した知識を実生活に生かして活用するための具体的な課題が示されています。

大修館書店では、学習の最後に作業課題「t r y」が設けられております。これによって、思考力・判断力等の育成、習得した知識を活用してそれらを育成することが図れるようになっていきます。

学研では、授業の後半に「活用しよう」という項目が設けられており、ここで習得した知識を生かした思考力・判断力の育成を図るような展開ができるような構成になっています。

住田委員長 他にはありませんか。

堀川委員。

堀川委員 A E D及び心肺蘇生法の実習などの取り扱いはどうなっておりますでしょうか。

鈴木選定委員（北中校長） A E Dと心肺蘇生法につきましては、各社の保健分野の第3章で全てのところで扱っております。

心肺蘇生法につきましては実習という形で示されて、手順、方法、それから具体的なやり方について、教科書で図解で説明されております。

A E Dにつきましては、機器の説明については全ての社で説明されております。実習の中で取り上げられ、A E Dの使い方の説明につきましては、東京書籍、大修館、学研の3社で具体的な例が示されております。

住田委員長 それでは、私のほうからお聞きしますけれども、科学的な理解を促すため、図とか写真など、そういったものの扱いどのような工夫が見られるでしょうか。

鈴木選定委員（北中校長） 各社とも本文を説明する補足資料として、多くの図表やイラスト、写真等の資料が提示されております。その中で、東京書籍に関しましては、特にイラストやキャラクターを有効に使って図を分かりやすくしている点が工夫されています。

大日本図書では、数多く資料が掲載されていることと、それから図や写真、表等が大きく扱われ、大変見やすくなっております。この点が工夫されている点です。

大修館書店では、資料と図や表等の中に読み取って欲しい大事な部分を吹き出しという形でポイントを明記して、生徒にとって分かりやすいような図表になっております。

学研では、本文中に資料1、2と数字で表しており、その資料が教科書の中に資料1、2と同じようになっている、その案内する文字と資料の提示されているところが白抜きで大変見やすく

なっていて、本文を読んでいてすぐわかるようになっている、そういった形式がとられております。

住田委員長 続いて、判型とそのページ数はいかがでしょうか。

鈴木選定委員（北中校長） 判型につきましては、東京書籍がA B判、大日本図書がA B判、大修館がB判、学研がB判となっております。

ページ数字ですが、総ページで言いますと、東京書籍が190ページ、大日本が166ページ、大修館が174ページ、学研が191ページというページ数になっています。

住田委員長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑のほうを終わりにいたします。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」についての質問等にもありましたけれども、「運動や健康・安全についての実践力の育成」について協議したいと思います。

実践力の育成に関連して、学習や内容の示し方について、どのような特色が見られるでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 各社とも学習で得た知識を生かして、単元のまとめをする構成になっております。学習内容を自己の課題として捉えさせやすく、実践力を育むのに効果的であると考えます。

大修館の「チャレンジ」は、書く活動を多く取り入れており、思考の整理がしやすい構成ではないかと思います。

住田委員長 学習研究社ですけれども、章末のほうに小テスト形式での学習内容のまとめがあり、知識の定着に役立つのではないかと、このように思います。

他にはどうですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点で「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「内容」に関連して、「小中一貫教育の視点を含めた学習内容の系統性」について協議したいと思います。

ご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 各社ともページの下のところに「リンク」などのマークを用いて、関連する学習内容を即時に確認ができるように工夫され、系統的に理解できるように配慮されていると思います。

住田委員長 私のほうでは、東京書籍と学習研究社は、各章のとびらに小学校での既習内容や高等

学校での学習内容が示されていて、小・中・高の学習内容のつながりが把握しやすいような構成になっていると思います。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点「内容」についての質問等及び総括に関連して、「今日的な課題の取り扱い」について協議したいと思います。

ご意見お願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 防災や安全、熱中症、また薬物乱用防止などの今日的な課題や話題については、各社とも取り上げています。ちなみに、竜巻については4社とも越谷市の画像が掲載されています。

東京書籍は、防災教育について主体的に判断し行動できるよう、自ら命を守る生徒の育成を図るために、他社よりも多くのページを割いており、PTSD（心的外傷後ストレス障害）などの被災後の生活や心のケアについても扱っています。

住田委員長 大修館は、感染症について多く取り上げています。特にSARS、エボラ出血熱など新しく登場してきた感染症も、142ページに表にして示しています。国際交流の進展に伴って拡大する感染症の知識習得には有意なことではないかと思います。

それから、学習研究社ですけれども、「食育」あるいは「防災」、「心の健康」、「犯罪被害防止」などをバランスよく網羅しているように思われます。また、ストレスの対処法とか、いわゆるいじめの相談窓口など、かなり具体的に記しているというように工夫しております。

他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他に何か協議したいことございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、これより保健体育の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動願います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、保健体育の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 学研でお願いします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 学研でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 学研でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 学研でお願いします。

住田委員長 それでは、4名の委員のご意見が一致しておりますので、学研に決したいと思います
が、これにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決します。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き、技術・家庭に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動をお願いします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

技術・家庭の技術分野の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 技術・家庭の技術分野の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦
する教科用図書のご報告をお願いします。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 技術・家庭の技術分野の教科用図書についてご説明させていただきます。
ます。

まず、東京書籍でございますが、「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、
各内容とも「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」と順番に繰り返すことで、基礎的・基本的
な知識・技術が習得できるように構成されています。基礎的なことは、「基礎技能」というコーナ
ーでまとめて掲載することで、いつでも作業をふりかえり、確認することができるようになって
います。また、「技術と社会や環境とのかかわり」につきましては、「環境マーク」というのを付
けて、結び付きを考えられるようになっています。「技術の匠」という欄では、さまざまな職業で
働く技術者を紹介し、「キャリア教育」との関連を図っています。さらに、生徒が自主的に考えら
れるように、「生活に生かそう」という欄を設けてあります。

「内容」では、「各内容」のはじめに、この内容で学ぶこととともに、関連ある小学校の教科と
単元が右ページ端にわかりやすく表示されています。また、本文中にも小学校との関連が表示さ

れています。「基礎・基本の確実な定着」と「確かな学力の育成」という観点では、「基礎技能」、「実習例」というコーナーにきちんととまとめてあり、色分けされた爪見出しですぐわかるようになっています。

「資料」につきましては、基本的な技能の説明のところで、生徒が作業をしている様子を写真で示すことで、大変わかりやすくなっています。実習のコツを「ポイント」というコーナーで示し、円滑に作業ができるように工夫されています。また、最終ページには、切り取って作成できる、全部で15ページの「防災手帳」がついているのが、この教科書の特徴の一つです。

「表記・表現」につきましては、用語、漢字、記号の使用及び文章表現について、難しい漢字にはふりがながあります。これは、以下の2社も同じです。難解な言葉には星印で注釈がつけられています。各ページの下には「ひとくちQ&A」があり、クイズ形式で専門的な用語に親しめる工夫がされています。実習例の手順が見開き2ページで、横流れで見やすく、わかりやすくなっています。教科書の活字は、ユニバーサルデザインフォントを用いています。

「総括」としましては、各内容の最後の評価・活用のページがあります。そのところにワークシートと記入例があって、生徒が発表するときに活用できるように工夫されています。また、各内容のまとめのところでは、学習内容の自己評価ができ、学んだことを文章で説明して、確認する項目もあり、言語活動の充実につながるように思います。越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切だと思われる点は、新しい材料と加工に関する技術の開発の中で、リデュース、リユース、リサイクルの3R等、身近なものを取り上げられている点が挙げられます。

続きまして、教育図書について報告させていただきます。

「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、わかりやすい図や写真を使って、実験や実習が掲載されています。実践的・体験的な活動を通して学習しやすいように工夫されています。また、製作課題の手順等、基礎技能のページを見開きページで配置することで、技能や知識が一目で確認することができるようになっています。「技術と社会や環境のかかわり」についてはリサイクルを取り上げ、環境保全を考えさせるようになっています。「生物育成」のところでは、食料自給率やフードマイレージを取り上げ、環境を身近に感じさせるような工夫がされています。各内容ごとに、「考えよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」という項目を設け、生徒の自主的な学習への働きかけが工夫されています。

「内容」につきましては、教科書のはじめに「序章」というガイダンスのページがあります。ここで小学校で学習したことや身近なものを例に挙げ、技術分野でこれから学習する内容や作品を紹介し、関心や意欲を高めるような工夫がされています。また、学習の定着を図るために、「基礎技能・知識」というコーナーがあり、赤い見出しで目立つように、大変わかりやすくしてあります。

「資料」につきましては、基本的な技能を説明するところでは、大きな写真を用い、作業段階

を細かく分けて表示して、手順がわかりやすくなっています。工程の各段階がわかりやすく示されていて、完成までの道筋が理解しやすく感じられました。また、実習手順に沿って工具や技能に関する情報が記載されていて、生徒が各自、自分の進行状況に応じて確認できるようになっています。

「表記・表現」につきましては、難解な言葉や説明を要する用語には「注」のマークをつけ、欄外にわかりやすく説明してあります。文章の表現は、「～です」、「～ます」というのが基本ですが、けれども、「～しましょう」というのも多く用いられていて、意欲づけになっています。作業手順のレイアウトは、横の流れでページごとに区切られていて、説明文の文字が大きく、見やすくなっています。巻末には「索引」があります。文字はユニバーサルフォントが使われています。

「総括」としましては、いろいろな場面で生徒が自分自身の考えをまとめたり、理由を問いかけるような「考えよう」とか「調べよう」というコーナーがあって、子どもたちが発表することや話し合い活動の時に大変ヒントになると思います。自分の考えを伝える言語活動の充実を図る指導につながると思っています。また、地球の温暖化等、それから都市型の生物育成技術の将来を考えるためのコンプレックス（複合）型植物工場というのが紹介されておまして、越谷の子どもたちには、「未来の都市型農業」を考える視点で大変参考になるのではないかと思います。

最後に、開隆堂について説明させていただきます。

「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、作業の説明に図、イラストが多く掲載されています。写真では、重要な部分が拡大で表示され、大変わかりやすくなっています。各内容の最後には、「社会と環境のかかわり」について、見開き2ページでまとめられています。また、環境に関する記述の部分では「環境のマーク」がついていて、環境への意識が高められるように工夫されています。

「内容」につきましては、「ガイダンス」のところで、写真を使って小学校の「図工」や「算数」「理科」「生活科」「総合的な学習の時間」と、技術分野との学習の違いを説明してあります。どのような部分を生かして発展させて、これから技術の学習をしていくかということを写真を使って説明されております。基礎・基本の確実な定着というところに関しましては、確かな学力を育成するために、「?（クエスチョン）」マークをつけた項目や、「参考」というマークを使って、基礎的な学習の理解を深めたり、応用・発展させるようになっています。また、小課題や資料も大変豊富に設定されています。

「資料」のところでは、写真だけではわかりにくいようなところも、矢印や手順を示した番号のあるイラストを用いてあって、見ればすぐわかるように工夫されています。「身の周りにある製品や機器の構造」については、子どもの生活に身近なシャープペンシルとか、4サイクルエンジン等のカットした図や分解図を用いることで、説明文を補う工夫も見られました。右のページ、右上のところに、1.5平方センチメートルぐらいの大きさに、用具の名前や写真がたくさん掲示さ

れています。また、ページの欄外には、「豆知識」として2行程度のさまざまな情報が記載されています。

「表記・表現」につきましては、用語、漢字、記号の使用及び文章表現については、難しい漢字の読みには、他の2社同様、ふりがながついています。文末の表現は、「～です」、「～ます」が使われていますが、「～しましょう」という呼びかけも多く見られます。用語の解説には、「参考」という欄を設けて、図や写真等で詳しく説明がされています。「色覚の個人差に問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮」されたCUDマークがついています。重要語句のフォントが明確で、認識しやすくなっています。実習例の流れを矢印や番号でわかりやすく表示してあります。

「総括」としましては、学習のまとめりごとに学習内容を確認する「ふりかえり」があり、自己評価とその理由を記述して、自分の考えをまとめることができるようになっています。ふりかえった学習内容をグループや家庭での話し合いに広げ、言語活動の充実を図る活動への指導につながっていくと思われます。越谷の子どもたちには、情報モラルと知的財産において人権や個人情報保護などを具体的に引き上げられております。

最後に、教科用図書の推薦でございますが、東京書籍と開隆堂を推薦いたします。

住田委員長 ただいまのご報告について、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答をお願いいたします。

まず、私から質問させていただきますが、実践的、体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的知識及び技術を習得させるために、どのような工夫がなされているのでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） まず、東京書籍ですが、実験・観察などマークで示されていて、すぐにわかるようになっています。また、基礎から発展までの実習例に難易度が示してあって、多数紹介されています。

教育図書では、「実習」、「実験」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えよう」などのマークがついていて、さまざまな実験や実習の例が示されています。

開隆堂では、「実験」、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」等、マークを用いて、基礎から発展までさまざまな実習例が示されています。

住田委員長 続きまして、技術のあり方や社会や環境との関係についてはいかがでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、写真やイラストを使ってあって、持続可能な社会のイメージや実現に向けての取り組みを紹介してあります。また、環境に関するところには、環境というマークで、わかるように記述されています。

教育図書は、写真やイラストを使って持続可能な社会の取り組み、資源の再利用を紹介しています。環境にかかわる写真や図、データを資料として幾つか示してあります。

開隆堂は、写真やイラストを使って持続可能な社会のイメージ、実現に向けての取り組みを紹介

介しています。環境にかかわる記述では、環境のマークで示されています。

住田委員長 もう一つ、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫はいかがでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、「調べてみよう」、「考えてみよう」という欄を設けて、主体的に取り組めるように意欲を喚起しています。また、学習を深める技術のとびら、発展というコーナーが教科書の中にあります。

教育図書では、同じように「調べてみよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」という欄を設けて意欲づけをしてあります。学習をさらに深められる発展というコーナーが設けられていて、主体的な学習への支援になると思われます。

開隆堂は、「調べてみよう」、「考えてみよう」という欄を設けてありまして、学習を深める発展というコーナーも設けられています。

住田委員長 他には。

進藤委員。

進藤委員 学習に関心を持たせ学習効果を高めるため、本文と図や写真などの関係及び配置はどうなっていますでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） どの教科書も同じようなのですけれども、東京書籍は見開きのページで、それで授業が進むようになっていて、写真や図なども大変わかりやすく、効果的に配置されています。

それから、教育図書は、同じように1ページで完結するような形での説明になっていて、わかりやすく、空間も少しありながらも説明が詳しくされております。本文が中央で、両端にイラストのような形のページが多かったように思われます。

開隆堂も、同じようにわかりやく見やすく工夫されていて、本当に情報満載という感じで、隅々にまでいろいろな、子どもが調べたいこと、知りたいなというようなことが示されています。

住田委員長 進藤委員。

進藤委員 進んで生活を工夫して創造する能力と実践的態度を育てるために、どのような工夫が見られるでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、環境や伝統文化、それから日本の技術などを取り上げて、創意工夫することの大切さを伝える学習課題や実習例が示されています。日本の古いものとか、そういったものも示されています。

それから、教育図書では、環境や伝統ある技術、また最先端の技術も紹介されていて、興味や関心を高める学習課題や実習例が出ているように思われました。創造する能力にそういったことがつながっていくのではないかなと思われます。

開隆堂は、環境や伝統文化、それから日本の技術などが取り上げられて、創意工夫する力、それから他者とのかかわる力を尊重する学習課題にしてあると感じられました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わりにいたします。

選定委員の退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「資料」についての質問等にもありましたが、「教科書全体の基本的構成」について協議したいと思います。

ご意見のほうをお願いいたします。

では、私からですが、東京書籍ですけれども、情報量が非常に多いと思います。実習における安全面への記述も充実していると思います。工具の使用方法や作業手順など、「基礎技能ページ」というコーナーにまとめていますし、また各分野の最初のガイダンスは、学習の大きな流れを示して、学習の見通しを立てやすいように活用しています。

それから、教育図書は、実習の中で知識や基礎技能を習得していくスタンスをとっています。「基礎技能」や「基礎技能・知識」のマークを用いて、各工程で必要となる基礎技能や機器の安全な利用方法を示していました。

他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 開隆堂は、知識と実習の内容が非常にバランスよく編集されていると感じました。実習の流れや手順などを写真やイラストマークを用いて掲載しています。活動を通して学べるように、基礎から発展までさまざまな実習例を紹介していると感じました。

住田委員長 他にございませんか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、続きまして、調査の観点「内容」及び「総括」と関連しますが、技術・家庭科の技術分野は、中学校においてはじめて学習する内容が多いことから、小学校の学習との関連性について協議したいと思います。

私から少し申し上げさせていただきますけれども、東京書籍は「この教科書で学ぶ皆さんへ」とか、「技術分野のガイダンス」を最初に詳しく掲載してあります。また、既習事項や他教科との関連を「小学校」、「他教科」などのマークで示しています。

それから、教育図書は、各内容に関するガイダンスのページで、ポイントを絞って掲載しております。

進藤委員。

進藤委員 開隆堂は、「技術分野で学ぶこと」、「学習の見通しをもとう」などを最初に掲載していま

す。また、学習の流れを「知る」、「できる」、「考える」の3段階で設定し、小学校での学習過程を技術分野の学習に生かせるように工夫しています。

住田委員長 他にいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点「内容」についての質問等にも関連するのですが、「習得した知識や技術を活用し、学習成果を積極的に生かす工夫」について協議したいと思います。

また、私のほうからですが、東京書籍は、実習例や実験例が示されて、「ものづくりの手順」のコーナーが設けられているなど、問題解決への学習の進め方や留意事項が説明されています。また、学習を深めるために「技術のとびら」、「発展」のコーナーを設けています。

それから、先ほども説明されたのですが、巻末のところに切り取りのページがありまして、防災手帳ができます。災害の際に、技術・家庭の学習でライフラインが絶たれた際の生きる力につながるのではないかと思います。

それから、教育図書は、実習例に手順や実験の例が示され、問題解決の充実を図っています。また、学習を深めるために「発展」のコーナーを設けています。

また、116ページのインテリアライトの製作とか、130ページの歩行ロボットの設計と製作、そういうものが設けられていまして、生徒がやってみたくなるような、そういう工夫が感じられています。

他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 開隆堂は、実習例が示され、「探求」、「豆知識」を設けるなど問題解決の充実を図っています。また、学習を深めるための「発展」を設けています。

住田委員長 他に協議したい内容はありますか。

教育長。

吉田教育長 最近、ネットの陰の部分というのが問題になっています。実際にトラブルも起きております。ご案内のとおり本市でも情報モラル教育の推進に努めておるところでございますけれども、ウイルス対策やフィルタリング、あるいはバックアップとか、パスワード等、認証システムであるとか、SNS、個人情報や知的財産等については、3社とも掲載しております。加えて、東書では、ネットトラブルについてイラストつきで載せており、開隆堂では、195ページになりますけれども、ネット依存、メール依存、SNS依存というような形で掲載しております。それから、198と199ページにわたって人権や個人情報、さらには200から201ページにわたって知的財産の保護について、こういったような別項目、それぞれ2ページにわたって詳しく説明をしております。

住田委員長 他にはどなたかございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより技術・家庭の技術分野の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため教育委員は別室へご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、技術・家庭の技術の教科用図書の採択に係る最終協議を行いますが、何かご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 開隆堂でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 それでは、4名の委員のご意見が一致しておりますので、開隆堂に決したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、秘密会を終わります。

引き続き、家庭に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場に移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

技術・家庭、家庭分野の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員の入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 技術・家庭の家庭分野の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 技術・家庭の家庭分野の教科用図書について、ご説明させていただきます。

それでは、はじめに東京書籍について報告させていただきます。

「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、見開き 1 ページまたは 2 ページで 1 時間の授業の目標と授業内容が構成されています。導入の「やってみよう」、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」という言葉で、生徒の主体的な活動から学習が始まるようになっていきます。家族とのかかわりを考えるロールプレイングやまとめる欄を設け、さまざまな状況で考える工夫がされています。「生活の課題と実践」が巻末にまとめてあり、課題の決め方、まとめ方が数種の実践例とともに示されています。

「内容」につきましては、はじめに「中学校技術家庭科の学習内容を見てみよう」という欄で、小学校の家庭科と学習内容が並べて表示されています。中学校への学習意欲が高まるように、また小学校は既習の確認ができるような表記になっています。各編ごとのまとめは、問題形式です。関連ページの表記があるので、自分でふりかえり、確認することができます。調理実習の例では、1 食分の組み合わせが多く、実践的で、一品料理の種類が多く、幼児のおやつもメニューが多く紹介されています。衣服の品質表示は一覧で表示され、アイロンは基礎技能のページにあります。

「資料」につきましては、学習内容と関連する各ページの資料や図は、本文に白抜き文字で示されています。「目ばかり」「手ばかり」「幼児の靴」などが実物大の写真で掲載され、実感を持って理解できるようになっています。比較した図や写真、作業の手順の段階写真、絵など、資料が大変きれいで豊富にそろっています。各ページの欄外に、その内容と関連する「ひとくちQ」という、ひとくちクエスチョンがあり、次のページに答えが掲載されています。また、物差しの目盛りの表示も教科書の下の方についているところがあり、大きさをすぐに実感を持って確認することができます。

「表記・表現」では、「編」「章」によって一目でわかるような爪見出しで色分けされています。基礎、技能、実習のページなどを爪見出しで色分けされ、資料を参照するときにも授業で大変使いやすくなっています。重要語句はゴシック文字で表記され、キャラクターが案内役になっています。環境・消費者・伝統・防災と関連づけて、学習が進められるように工夫されています。また、安全面・衛生面に関するマークもあります。全ての生徒の色覚特性に対応するようにデザインされ、ユニバーサルデザインフォントが採用されています。

「総括」としましては、課題と実践の発表方法として、コンピュータでプレゼンテーションソフトを使って発表する事例が記載され、コンピュータやインターネットを活用した学習については、マークが示されています。ICTを有効に活用し、調べたり、まとめたりすることができ、越谷市の実態によく合っていると思います。また、地域の食文化を知るために、日本各地の郷土料理や行事食を写真で紹介してあります。埼玉県では北部の「いが饅頭」や「のらぼう菜」が紹

介されております。

続きまして、教育図書について報告します。

「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、全体が見開き 1 ページ、2 ページで授業内容が構成されています。各内容の各章の導入にあたる部分は、「Q（クエスチョン）」になっていて、実物大写真や絵、漫画を用いて興味を持って考えたり、主体的な活動で始められるように工夫されています。学習目標が項目のはじめのところにきちんと記載されています。家族とのかかわりのところは、ロールプレイングで事例を話すようになっています。ロールプレイングの進め方も詳しく記載され、手紙・電子メール・手づくりのもの等、さまざまなコミュニケーションツールにも触れてあります。各内容ごとに、生活の課題と実践の例が 2 例ずつ掲載されています。

「内容」については、調理実習の例として、小学校の「復習」という形で、ゆで卵と鍋での炊飯が記載されています。各章の 1・2・3 の見開きの左側にはキーワードチェックというところがあり、授業ごとに学習内容をふりかえることができるようになっています。また、内容ごとに問題形式で学習の確認ができるようになっています。調理実習では、主食・主菜等に分かれているので、組み合わせを工夫することができます。小学校の復習が取り入れられています。アイロンの表示については、アイロンを取り扱ったページにも記載され、関連づけて実生活での活用ができるようになっています。

「資料」につきましては、学習内容と関連する各ページの資料や図について、本文に白抜きの文字で書かれています。コラム、参考資料が各ページ両脇に色分けしてページに表示されています。

「表記・表現」は、「です」、「ます」の丁寧語で書かれ、難読語にはふりがながふられ、内容によって色分けされています。目次には「実習」「発展」「選択」というマークの記載があり、本文は明朝体で、重要語句はゴシック太文字でわかりやすくなっています。実習や資料はゴシック体で、キャラクターが案内役になって説明するようになっています。教科書に使われているマークは、環境・消費者・伝統・防災と関連づけて学習を進められるようになっています。安全面・衛生面に配慮するマークもあります。

「総括」としましては、課題と実践の発表方法として、コンピュータを使用したデジタル作品としてまとめる方法が記載されています。越谷市の ICT の活用の推進と技術分野とのリンクが促され、関連づけて指導しやすくなっていると思います。また、内容 A 家族・家庭と子どもの成長の課題と実践の例として、「住みよいまちってどんなまち？」「地域でボランティア活動しよう」という内容が示され、地域に密着した指導ができるようになっています。埼玉県郷土料理では、越谷市と吉川市一帯では、ナマズなど川魚を使った料理が発展したと記述されているところがありました。

最後に、開隆堂について報告させていただきます。

「学習指導要領や教科の目標とのかかわり」につきましては、全体を通して見開き1ページまたは2ページでの授業内容になっています。導入につきましては、「考えてみよう」「話し合ってみよう」と表記がされ、考えを深められるような絵や写真が掲載されて、生徒の主体的な活動で学習がスタートできるように工夫されています。家族とのかかわりを考えるために、グラフやインタビューなどの参考資料があり、ロールプレイングで事例を話し合う活動が紹介されています。「生活の課題と実践」が巻末にまとめてあり、内容ごとに、5から6の事例が掲載されています。

「内容」に関するところでは、教科書のはじめの目次のところから「ガイダンス」のページで、3年間の学習の目標、見通しが持てるようになっていきます。内容のまとめでは、「アンケート形式」「生活に生かそう」という書き込みスペースがあります。調理実習の例では、1食分の組み合わせが多く、大変実践的です。また、副菜が多く、献立作りに活用しやすくなっています。おやつが幼児向けだけではなく、大人にも合うような調理例になっています。また、災害時の食事のページもありました。衣服の品質表示は一覧で比較しやすく、アイロンの実技説明のページも記載されていました。使いやすく工夫されています。

「資料」につきましては、学習内容と関連するページの資料や図が、本文に白抜きで書かれています。コラム、参考資料が左側に配置されていて、関連するページの内容などが「リンク」として明記されています。「参考」のコーナーでは関連資料や各著名人のインタビュー等があり、生活者としての側面がわかる興味深い資料だと思います。右ページ右上に、技術と同様に用具の写真と名前が1.5平方センチメートルの大きさに示され、爪見出しになっています。また、欄外には「豆知識」として2行程度の記述があり、資料が満載です。

「表記・表現」につきましては、丁寧語で書かれ、難読語にはふりがながふってあります。中学生の男女のイラストが学習の導入やまとめで確認事項を語る形になっています。教科書に使われているマークが示され、環境・消費者・伝統・防災と関連付けて学習が進められるようになっています。安全面・衛生面に配慮するためのマークが記載されています。色覚の個人差に問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮されたCUDのマークがついています。

「総括」としましては、巻末の「生活の課題と実践」の最後に、「言語活動の充実のために」という視点で、「考えたり、判断したり、表現したりする力をつけよう」という課題解決型の学習がまとめられています。また、学習でお世話になった方への手紙の書き方が紹介され、調査・分析・整理、それから手紙等の記述で書き込みができるように工夫されています。各内容の最後に、「持続可能な社会をつくる」という項目でまとめられた見開きのページがあります。

最後に、教科用図書の推薦でございますが、東京書籍と開隆堂を推薦いたします。よろしくお願いいたします。

住田委員長 ただいまのご報告につきまして、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員からのご回答をお願いいたします。

どなたかございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を修得するため、どのような実習例や体験例を掲載しているのでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、学習のまとめがあり、学習したことをふりかえろうというコーナー、それから学習したことを確かめようというのがありまして、生活に必要な知識・技術を身につけたか、自分でチェックできるようになっています。基礎技能のページや「ひとくちQ&A」等、基礎・基本の定着のための工夫が見られます。

東京書籍では、各節ごとに学習内容やキーワード内容のまとめごとに学習のふりかえりというコーナーがあります。基礎・基本の定着を自分で確認できるようになっています。また、実習の前には、調理・制作の実習の基礎として、小学校の履修内容をもう一度確認するようなどころがありました。

開隆堂では、内容ごとに学習のまとめというページがあり、必要な知識や安全・衛生に注意して、包丁やまな板の使い方などが一目でわかるように工夫したページがありました。ふりかえりや繰り返し、基礎・基本の場面等をマークで確認しやすいように工夫されています。

住田委員長 他にございますか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 子どもたちの発達や子どもとのかかわり方への理解を深めるために、どのような工夫が見られるのでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 家庭科の授業でとても大事なところなのですが、東京書籍では、幼児の発達と生活、それから家族の役割や遊びについて学び、幼児との触れ合い体験については、幼稚園とか保育所などの幼児施設へ中学校の子どもたちが訪問すること、あるいは中学校へ招待するという2つの例が示されています。

また、教育図書では、幼児の心身の成長について学習後、ふれあい実習についての事前の準備、細やかな準備のことが書いてありました。それから、注意点について、具体的なイラストつきの説明がありました。

開隆堂は、家庭の働き、子どもとのふれあい、自分の成長をふりかえる。そして、今、家族の一員としてどんなことができるかということを考えるような内容になっています。細やかな説明があり、実践に役立つような内容になっていました。

住田委員長 他にはいかがですか。

櫻田代理、どうぞ。

櫻田委員長職務代理者 小中一貫教育の視点ではどうでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 小中一貫ということでは、東京書籍は、最初のガイダンスのところで、中学校の学習内容と小学校の家庭科の学習内容が並べて表示されていて、関連がよくわかるようになっています。また、小学校で勉強したことを確認できるようなことを表記しています。

教育図書は、小学校のふりかえりができるような「わたしの成長と家庭分野の学習」というコーナーが設けられています。それから、キャラクターのセリフや、復習というマークでいろいろふりかえる場面が出てきています。

開隆堂は、題材の導入や基礎的な技術の確認など、いろんな場面で随時小学校のふりかえりというのが、イラストやセリフ、それから写真、図表で取り上げられています。小・中の学習の系統性というのが図られていると思いました。

住田委員長 それでは、続いてお聞きしたいのですが、日本の伝統とか文化の扱いはいかがでしょうか。

小倉選定委員（蒲生小教頭） 東京書籍では、日本をふりかえるというだけではなくて、国際化社会の中で将来を担う中学生が、日本の伝統文化への理解を深め、誇りが持てるような内容が充実しています。和食はもちろんですが、浴衣の着つけとか和服の文化とか、それから大島紬、博多織とか、そういうのも載っていましたし、それから日本の江戸時代のころの循環型社会とか、着物はリサイクルできますとか、そういったことも載っていました。

教育図書では、伝統や文化を見詰める資料ということで、口絵に「年中行事とわたしたちの暮らし」ということで、衣食住にかかわる伝統的な文化を取り上げてあります。年中行事と暮らしということで、子どもたちは人生のお祝い事とか、それから食の文化の継承とか、行事食とか、そういったものがよくわかるかなと思います。みそづくりや、布団とベッドの比較とか、身近な和服では、「はっぴ」や「甚兵衛」まで載っていましたし、帯の結び方なども載っていました。

開隆堂は、グローバル化していく社会のために対応していくということで、身近な地域社会から世界へ視野を広げるような視点で書かれております。やはり和食の配膳や盛りつけとか、はしの持ち方、だしのとり方とかが載っていますけれども、伝統文化ということにつきましては、富士山のマークがつけてあって、そこで日本の伝統の説明があります。また、浴衣などにつきましては、たたみ方などが細やかに載っていました。それから、日本の塗り物や焼き物の食器についても載ってありました。近くのことでは、春日部の桐たんすなどが掲載されておりました。

住田委員長 他にはありませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わりにいたします。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「内容」についての質問等にもありましたけれども、「基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫」について協議したいと思います。

ご意見をお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書は、内容ごとに「学習のまとめ」のページがあり、「学習のふり返り」、「学習したことを確かめよう」で、学習の定着を図れるようにしています。また、必ず身につけさせたい基礎的・基本的な技術を「基礎技能のページ」としてまとめて掲載したり、ほとんどのページの脚注に「ひとくちQ&A」というものを記載したりしています。

また、教育図書では、内容ごとに「学習のふり返り」として確認問題を掲載して、学習のチェックができるようにしています。また、各節にキーワードチェック欄を設け、生活に必要な知識や技術が身についたか確認できるようになっています。

住田委員長 私のほうは、開隆堂ですけれども、「ふり返り」、「学習のまとめ」で「自己評価をして学習の定着を図ることができる」を目指しているように思います。また、脚注に「豆知識」を記載するなど、基礎的・基本的な知識や技術が習得できるような工夫がなされています。

それから、70、71ページの発展の箇所では、食品中に含まれる炭水化物、たんぱく質、食物繊維、ビタミンCなど幾つかの栄養成分を簡易な方法でもって知る方法が掲載されています。

他にはどうですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」及び「総括」についての質問等とも関連しますけれども、「思考力・判断力・表現力等を育てる工夫」について協議したいと思います。

ご意見をお願いいたします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書は、「生活の課題と実践」を最後にまとめて設けるとともに、問題の決め方、まとめと発表の仕方についても具体的な説明のページが設けられています。

教育図書は、「生活の課題と実践」を各内容の最後に設けています。

住田委員長 私からですが、開隆堂は、「生活の課題と実践」を最後にまとめて設けています。また、各内容ごとに具体例を2、3示したりしていますし、課題例も4から5個ぐらい示して、選択の幅を広げているように思いました。

他にどなたか。

教育長。

吉田教育長 東書や開隆堂では、巻頭で見開きのページを設けて、持続可能な社会について取り上

げておりますけれども、特に開隆堂では、この他に内容ごとに持続可能な社会をつくるというコーナーを設けてあると思います。これは11ページを見ると、これは「A家族・家庭と子どもの成長」、ここのところでも54ページのところで持続可能な社会をつくるというような提案が載っております。

さらに、61ページについては食生活と自立というところで、同じ136ページで持続可能な社会をつくるというのを取り上げております。特に136ページを見ると食生活と環境とのかかわりというのが出ていまして、世界中のさまざまな資料を提示して人や環境とのかかわりを考えるようになっております。例えばここでは食料生産と輸送であるとか、生産者と消費者の協力であるとか、食品ロスであるとか、あるいは日本の食料自給率であるとか、さらには地産地消であるとか、あるいは「世界がもし100人の村だったら」を取り上げて、環境とそれから食料、これについて割と考えやすい、取り組みやすいような項目がかなり紹介をされております。そうしたことから、人や環境とのかかわりを考えて話し合ったりすることができるような構成を工夫しているというふうに思います。

住田委員長 他にはございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に、「内容」及び「資料」についての質問等にもありましたけれども、「実践的・体験的な学習活動を行う工夫」について協議したいと思います。

子育てに関する情報は、どのようなものが取り上げられているかということについては、いかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書は、「幼児とのふれあいで大切なこと」で、「ふれあい体験」の実習を設け、活動の様子がわかるよう、写真やコメント、吹き出しを多く使って示しています。幼児への接し方のポイントや、衛生面・安全面で配慮することをまとめて掲載しています。

教育図書では、「ふれあい実習の事前準備と注意点」や「幼児と上手にふれあうための主なコツ」のコーナーを設け、イラストでわかりやすく楽しく学べるように工夫しています。「考えよう」のコーナーでは、幼児の見せる困った行動への対処について事前に考えさせています。

住田委員長 私からは、開隆堂ですけれども、ふれあい体験の実習において、「子どもと目線を同じにして遊ぼう」など、どんなことをすればよいか、具体例を示しています。また、「幼児と仲良くなるためのヒント」を示し、はじめてふれあう生徒の不安を軽減できるようにしています。

そして、43ページに幼児とのふれあい体験の際の安全面が載っておりまして、頭髮、爪、靴など、忘れがちな細かなところまで出ています。その他28ページには、災害の際の避難時に幼児がいる家族に必要なもの、そういうものが載っていたり、140ページには、先ほどの説明にもあったのですけれども、災害時の食事といったようなところまで登載されていました。

他にはいかがですか。他に協議したい内容はありますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより技術家庭の家庭分野の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。秘密会とするため、教育委員は別室へご移動願います。

なお、秘密会の後、休憩をはさみまして、午後 3 時 20 分から再開したいと思います。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、技術・家庭の家庭分野の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A 委員。

A 委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、B 委員。

B 委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、C 委員。

C 委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 次に、D 委員。

D 委員 開隆堂でお願いします。

住田委員長 それでは、4 名の委員のご意見が一致しておりますので、開隆堂に決したいと思います。ですが、ご異議ないでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決めます。

それでは、以上で秘密会を終わります。

休憩の後、数学に係る教科用図書採択について審議を続けますので、その際はもとの会場にお移りください。

◎休憩の宣告

住田委員長 それでは、休憩といたします。

休憩 午後 3 時 0 6 分

再開 午後 3 時 2 0 分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

これより数学の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員のご入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 数学の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

鈴木選定委員（東中校長） それでは、数学の教科書についてご説明申し上げます。

まず、東京書籍でございますが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入に身の周りの事象を取り上げ、生徒の興味・関心を引くとともに、学習の要点や公式などが簡潔にまとめられ、確認しやすく、例題・類題・補充問題も充実しています。

「内容」につきましては、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されており、第一学年の教科書には「算数のふりかえり」があり、生徒が自分の理解の状況を確認することができます。

「資料」につきましては、7社ともに、各節のとびらや導入問題は、興味・関心が高まるように身近な内容を取り上げ、絵や写真を多く使用しています。文章問題や応用問題などでは、図や書き込みのできる表画を教科書に直接グラフが描けるように方眼もあります。さらに、巻末に簡単につくれる表がついています。

「表記・表現」につきましては、7社ともに、新しい用語、記号は太字で書かれ、必要に応じてふりがなが記されています。活字だけではなく、手書き風の文字を使用するなどしているため、より身近なものとして捉えることができ、取り組みやすくなっています。ユニバーサルデザインフォントを採用したり、ユニバーサルデザインに配慮しています。また、重要部分、補足説明、解答例などを工夫したり、その他例題、問いなどで囲みや色を区別するなど、見やすい工夫がされています。

「総括」としては、「学び合い」では紙面が工夫されており、その中で数学的な考え方や表現力を伸ばせるようになっており、「例」、「たしかめ」、「問」という配列で基礎・基本が身につくように工夫されています。全学年、ICTを効果的に活用できる場面がキャラクターにより示されています。「学び合い」、「数学マイノート」では、小学校や前学年の学習内容の系統がわかりやすく示されています。また、単位時間の学習課題がわかりやすく示されており、既習事項と関連させ、主体的に取り組みやすいように工夫されています。

次に、大日本図書については、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入に、自然界の事象から身近な問題を取り上げ、生徒の興味・関心を高め、スムーズに学

習に取り組めるよう工夫されています。

「内容」につきましては、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されています。第一学年の巻末には「小学校の復習」があり、小学校での学習内容を確認することができます。

「総括」につきましては、ノートづくりやレポートの書き方、問題づくりで、説明し話し合う活動や互いの考えを出し合う活動を取り入れています。課題解決の過程で多様な考え方が取り上げられており、話し合い活動がしやすくなっています。「思い出そう」として、既習事項をふりかえることができるようになっています。具体的なイラストや写真が多くあり、身近な事象との関連がよくわかるようになっています。

次に、学校図書についてですが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入に、身近な題材を扱い、見通しをもって学習に入れるよう工夫されています。また、「ふりかえり」、「数学で使われる考え方」がまとめられており、系統的に学習内容を掲載しています。

「内容」につきましては、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されており、巻頭には「数学で使われる考え方」があり、小学校や前学年の学習内容をできるだけ具体的に説明しています。

「総括」につきましては、巻頭・巻末でレポート学習を取り上げ、協同学習を通して言語活動を意識した学習を進められるようになっています。実生活に関係する話題が多く取り上げられていて、生徒が興味を抱きやすいように工夫されています。各単元に入る前に「ふりかえり」のページとして、小学校から今までの学習をふりかえることができるようになっています。身に付けた知識・技能や数学的な見方・考え方を活用する身近な問題が取り上げられており、思考力が身につくように工夫されています。

次に、教育出版についてですが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入前に、前章の復習が設定されています。説明問題が豊富で、話し合い活動や表現力を育む授業の展開に有効です。

「内容」につきましては、各章の最初に「学習する前に」があり、小学校や前学年で学習した内容を確認することができます。第一学年巻末の「小学算数のまとめ」で、小学校での既習内容と中学校数学とのつながりを確認することができます。

「総括」につきましては、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする場面が数多く設定されています。大切な部分の色づかいがカラフルで、写真とイラストのバランスが良く、丁寧に説明されているため、生徒自ら意欲的に取り組めるように工夫されています。小学校からの既習事項を取り上げ、中学数学との系統性をわかりやすく解説しています。基礎・基本の確実な習得を目指していることがよくわかる構成で、取り組みやすくなっています。

次に、啓林館についてですが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」については、単元の

導入に身近な事象から考察する課題を取り上げ、興味・関心を引く内容になっています。例題では考え方のポイントが絞られて、理解しやすいです。

「内容」につきましては、「Math Nav iブック」では、小学校や前学年に関連する内容を確認することができるようになっています。また、本体と別になっているため、目的に応じて確認や提示をすることができます。

「総括」につきましては、「数学広場」の中に「ICTの窓」があり、ICTを活用した学習活動が行えるようになっています。「みんなで話しあってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめよう」として、考えをまとめたり伝えたりする場面が設定され、言語活動の充実につながります。「基本のたしかめ」、「くり返し学習」など、問題数が豊富で、基礎・基本の定着に効果的です。2冊で構成され、教科書で学んだ内容を活用できるように工夫されています。

次に、数研出版についてですが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入に身近な課題を取り上げています。学習する内容を理解するための具体例、代表的な問題を解答例とともに示す例題、練習問題、そして発展問題と、学習がスムーズに行えるよう工夫されています。

「内容」につきましては、各学年の巻頭に「クイックチャージ」が設けられ、小学校や前学年で学んだ内容をふりかえることができます。

「総括」につきましては、「伝え合おう」の中には、数学的な表現を使い、自分の考えを筋道立てて説明し、相手に伝えるという内容が含まれ、言語活動の充実につながります。復習すべきページを示してあり、どこに戻ればその用語や内容が詳しく説明されているかが一目でわかるよう工夫されています。数学的活動の場面を多く設定しております。例題の反復学習をすることができる問題が付いており、基礎・基本の定着に向けた学習ができます。

次に、日本文教出版についてですが、「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」につきましては、単元の導入に興味・関心を引く、生活に結び付いた課題が設定されています。チャレンジ問題や章末問題と豊富にそろえられ、観点別にマークもされていて、自ら進んで反復学習ができるように工夫されています。

「内容」につきましては、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されており、各章の前に「学ぶ前に」が用意され、小学校や前学年の学習内容を確認できます。

「総括」につきましては、電子黒板やパソコンなどのICT機器を活用する内容が示されています。「話し合おう」として、みんなで話し合っ解決する課題が示されています。基礎的な問題が多く取り上げられていて、十分な定着を図れるよう工夫されています。数学的活動を多く取り入れています。大切な用語について、わかりやすく目立つよう強調されており、復習にも役立つ内容です。

次に、推薦する教科書でございますけれども、総合的に考えて、東京書籍と啓林館を推薦いた

します。

東京書籍につきましては、「学び合い」で紙面が工夫されていて、数学的な考え方や表現力を伸ばせるようになっていること。「例」「たしかめ」「問い」という配列で、基礎・基本が身につくように工夫されていること。全学年、ICTを効果的に活用できる場面がキャラクターにより示されていること。「学び合い」「数学マイノート」で、小学校や前学年の学習内容の系統がわかりやすく示されていること。単位時間の学習課題がわかりやすく示され、既習事項と関連させ、主体的に取り組みやすいように工夫されていること。

啓林館は、「基本のたしかめ」「くり返し学習」など問題数が豊富で、基礎・基本の定着に効果的であること。2冊で構成され、教科書で学んだ内容を活用できるように工夫されていること。

「数学広場」の中に「ICTの窓」があり、ICTを活用した学習活動が行えるようになっていること。「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめよう」として、考えをまとめたり伝えたりする場面が設定され、言語活動の充実につながること。という理由で、越谷市立中学校の実態に適合していると考えます。

住田委員長 ただいまの報告について、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、私のほうから質問させていただきますが、関心・意欲を高めるために、特に単元の導入にはどのような工夫が見られますでしょうか。

鈴木選定委員（東中校長） 東京書籍では、各節の導入問題は、興味・関心が高まるように身近な問題を取り上げ、絵や写真を多く使用しています。

大日本図書では、各章のとびらには、風景等の写真があり、各節の導入問題も絵や写真を多く使用しています。

学校図書では、各章のとびらには、身近な内容の導入問題があり、興味・関心が高まるように絵や写真を多く使用しています。

教育出版では、各章のとびらには、単元の学習内容につながる写真があり、導入問題は興味・関心が高まるように絵や写真を多く使用しております。

啓林館では、各節の導入問題は、興味・関心が高まるように身近な内容を取り上げ、大きめの絵や写真が多く使用されています。

数研出版では、各章のとびらには、身近な内容の導入問題があり、興味・関心が高まるように絵や写真を多く使用しています。

日本文教出版では、各章のとびらには、身近な内容の導入問題があり、興味・関心が高まるように絵や写真を多く使用しています。

住田委員長 もう一つ、数学的活動の楽しさ、数学のよさ、そういうものを実感させるためにはどのような工夫がなされていますでしょうか。

鈴木選定委員（東中校長） 東京書籍では、数学的活動として「考えてみよう」、「調べてみよう」、「見直して広げてみよう」、「説明してみよう」が用意されています。「数学発見レポート」、「数学の窓」、「社会とつながる」、「教科とつながる」で活用例を挙げ、よさを実感させています。活用問題も用意されています。

大日本図書では、教科書の使い方の中で、数学的活動を通して学ぶことを具体的に記載してあります。典型的な活動は、「見い出そう」、「利用しよう」、「伝えよう」のマークがついています。学習内容と日常生活などとの関連が図られ、よさを実感できるようになっています。「社会にリンク」では、数学と実社会とのさまざまな関連を示しています。

学校図書では、数学的活動に対応した問題に「見つける」、「活用する」、「伝える」というマークがついています。また、章末の活用問題で数学の有用性を実感できる工夫があり、「深めよう」で、さらに深めたり広げたりする内容を取り上げています。

教育出版では、「みんなで数学」というところで、数学的活動を実現するために、具体的な展開を例示しています。数学を日常生活や社会に利用する課題や話題を多く掲載し、教材に触れ、数学の実用性を知り、よさを実感できるようにしています。

啓林館では、巻頭の「学習の進め方」で、数学的活動を根底においた学習の進め方を紹介しています。「身のまわりにひろげよう」、「ひろがる数学」、「数学を通して考えよう」などで、よさを実感する工夫をしています。

数研出版では、数学的活動に関連するものを「見つけよう」、「活用しよう」、「伝え合おう」というマークがついています。知識・技能の習得と、それを活用する場面のバランスに配慮し、よさを実感できるように工夫してあります。巻末に活用問題を配置し、身近な課題を解決することができます。

日本文教出版では、巻頭で数学的活動に取り組むために大切なことをわかりやすく伝える工夫があります。「見つけよう」、「生活への利用」、「説明しよう」の活動が設けられています。「とりくんでみよう」、「深める数学」、「生活への利用」などでよさを実感できる工夫があります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 小学校の教科書との連携はどうでしょうか。

鈴木選定委員（東中校長） 東京書籍では、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されています。一学年の教科書には「算数のふりかえり」があり、生徒が自分の理解の状況を確認することができます。巻末には学習のつながりが確認できるまとめが用意されています。小学校と同じ教科書を使うと、より効果的であると考えます。

大日本図書では、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されています。第一学年の巻末には「小学校の復習」があり、小学校での学習内容を確認することができます。側注の「思

い出そう」では、小学校の学習をふりかえることができます。

学校図書では、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されています。巻頭には「数学で使われる考え方」があり、小学校や前学年の学習内容を例に取り上げ、具体的に説明しています。第一学年では「ふりかえり～算数から数学へ～」があり、既習内容とのつながりがわかるようになっています。

教育出版では、各章の最初に「学習する前に」があり、小学校や前学年で学習した内容を確認することができます。第一学年の巻末に「小学算数のまとめ」があり、小学校での既習内容と中学校数学のつながりを確認することができます。

啓林館では、「Math Nav iブック」では、小学校や前学年に関連する内容を確認することができますようになっています。また、本体と別になっているため、目的に応じて確認や提示をすることができます。側注のふりかえりでは、小学校の学習をふりかえることができます。

数研出版では、各学年の巻頭に「クイックチャージ」が設けられ、小学校や前学年で学んだ内容をふりかえることができます。中学校の学習と関連する小学校の内容があった場合、「ふりかえり」が用意されていて、巻頭の「クイックチャージ」ともリンクしています。

日本文教出版では、全学年の目次に、小学校や前学年との関連が記載されています。各章の前に「学ぶ前に」が用意され、小学校や前学年の学習内容を確認できます。巻末の「算数をふりかえろう」では、つまずきが予想される内容の問題と丁寧な解答が記載されています。

住田委員長 他にありませんか。

堀川委員。

堀川委員 もう一点。生徒の個人差に対応し、一人一人の学力向上に向けてどのような工夫が見られますでしょうか。

鈴木選定委員（東中校長） 東京書籍では、全学年の巻末に「補充の問題」があり、基礎・基本の定着を図ることに活用できます。問題と学習内容との対応が示され、その難易度も多様です。また、「活用の問題」があり、学習したことをもとに確かな学力の育成を図る機会として活用できます。豊富な問題で繰り返し練習できる。問題に難易度があり、上位の生徒も意欲的に取り組みます。つまずき例、戻る場所が示され、自学自習できる仕組みになっています。

大日本図書では、「思い出そう」で、既習事項をふりかえることができます。くり返し学習する機会を充実させるために節末の「練習」のほか、理解度に応じた学習ができるように豊富な多様な問題が用意されています。巻末に「まとめの問題」があり、その学年で学習した内容をふりかえることができます。「Mathful（マスフル）」では、既習内容と関連づけながら発展させることができます。

学校図書では、既習事項を確認させたり、習熟に応じた問題を利用するなど、個に応じた指導がしやすいようになっています。「確かめよう」や「計算力を高めよう」など、目的に応じた問題

が用意されています。各章の終わりに「まとめの問題」が用意されており、学習内容を確認することができます。また、「深めよう」では、学習したことを活用する問題が用意されています。

教育出版では、問題数が豊富で、基礎・基本の確実な習得ができます。各章の終わりに「学習のまとめ」があり、学んだ内容を言葉や図・式などでまとめることができます。各節の終わりに「基本の確かめ」があり、巻末には「確かめの補充問題」があります。

啓林館では、問題数が豊富で、基礎・基本の定着に効果的です。章の終わりには「基本のたしかめ」、「章末問題」があり、目的に応じて確認をすることができます。巻末の「力をつけよう」では、教科書の学習内容と相互に対応させており、学習内容の理解を深めることに活用することができます。

数研出版では、生徒のつまづきが予想されるものに対して、スモールステップが用意されています。例題の余白にある「反復」は、例題と問いの間にある小さなギャップを埋めています。自学自習ができるように、「ふりかえり」によって既習とのリンクがされています。

日本文教出版では、右端に「ふりかえり」があり、学んだ内容を示したり、右矢印で参考ページを示しています。チャレンジ問題や章末問題が豊富にあり、観点別にマークもあり、反復学習ができる工夫があります。各章の終わりの「くりかえし練習」で学習内容を確認することができます。巻末の「力をのばそう」の問題は、A問題とB問題（活用）に分かれており、全国学力・学習状況調査などの配慮がなされています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、質疑のほうを終わります。

選定委員のご退出をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」についての質問等にもありましたが、「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させる工夫」について協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

私から発言させていただきたくしますが、各社とも各章末とか巻末において数学を活用する課題を設定しています。啓林館ですけれども、別刷りの「Math Nav iブック」でも課題設定があります。そして、楽しさの点では、「千思万考」というコーナーが各章末ごとに設けてあって、サイコロの隠れている面の数の和を考えさせたり、これは一年生の79ページにございます。時々設けられています「数学展望台」のコーナーでは、地図の畳み方、山に行かれる方はよく使われると思うのですが、ミウラ折りという、これは二年生の135ページに紹介されていますけれども、これは人工衛星の太陽パネルに応用される、そういった例を載せて数学の興味・関心を引

かせるといったような工夫がなされています。

他にはいかがですか。

堀川委員。

堀川委員 身近な題材の取り扱いとしては、東書では「学的活動Q」、啓林館では「学習のとびら」、数研では「章とびら」、日文では「章の扉」が位置づけられています。大日本図書、学図、教出においても同様に導入問題の中で身近な題材が扱われています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 越谷教育プランでは、「生きる力を育む学校教育を進める」を基本目標として、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成に努めているところであり、この点については各社とも工夫が見られるわけですが、ちなみに東書の一年の教科書の45ページに「学び合い」というのがあって、正負の数の利用というところなのですが、身長平均を工夫してみようというところで、まずは平均の求め方を自分で求めなさい。その上で、50ページのところに「数学マイノート」というのがあるのですが、これで友達を考え、例えば、いろいろ計算しないで、数的に簡単なのは、プラス・マイナスの利用ということで、150センチを目安にして、マイナス2センチであるとか、プラス6センチであるとか、これを足して出すものなのですが、こういう考え方をそれぞれ出させて、それをノートにとるというような形の「数学マイノート」提示されております。それを通して、数理的な処理のよさというのを考えさせているという、そういう流れになっているのですが、こうした流れが示されていることによって、思考力、判断力、表現力等の育成はもとより、生徒にとってはノートのとり方、教員にとっては板書の仕方についての工夫をしやすくなるというように思っております。実践的な図書ということになっております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 続きまして、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」、「内容」及び「総括」についての質問等とも関連しますが、特に中学校において数学は学力差がはっきりしやすい教科であると言われております。そこで、「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫」について協議したいと思います。

基礎的・基本的事項の習得に関連して、各教科書はどのような特色があるかということについてですが、先に私のほうで述べさせていただきます。

大日本図書では、側注の「思い出そう」で学びをふりかえられるようになっています。学校図書では、「ふりかえり」のマークを示して、学習内容に関連する既習事項が取り上げられています。啓林館でも、「ふりかえり」のマークで既習事項が取り上げられています。教育出版では、各章の

前に「学習する前に」が問題形式で確認できるようになっていますし、日本文教出版は「次の章を学ぶ前に」が設定されています。また、数研出版では、巻頭に「クイックチャージ」で既習事項がまとめられているというように、それぞれの特徴があると思います。

他にはいかがですか。

堀川委員。

堀川委員 東書では、「例」と「問い」の間に「たしかめ」が設定され、苦手な生徒が順を追って学習できるよう、スモールステップにしております。

住田委員長 他にはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に移りますが、調査の観点「資料」及び「総括」についての質問等とも関係しますけれども、基礎的・基本的な事項を習得させるとともに、多様な考え方を引き出すための「教科書の表記上の特色」について協議したいと思います。

ページ構成はいかがだったでしょうか。

私のほうから先に言わせていただきますが、解答例の示し方なのですが、東京書籍、それから学校図書、啓林館、日本文教出版は、ノート形式で示されています。それから、大日本図書は板書形式です。数研出版、教育出版は、色付きで示してあります。

他にはいかがですか。

堀川委員。

堀川委員 問題解決の際に、東書、学図、教出では、生徒の挿絵を使用しています。大日本と数研ではキャラクターを使用し、啓林館、日文では生徒とキャラクター両方を使用してさまざまな考え方を引き出しています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他に協議したい内容ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、これより数学の教科用図書採択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、数学の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 東書でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 東書でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 東書でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 東書でお願いします。

住田委員長 それでは、4名とも東書ということで委員のご意見が一致しておりますので、東書に決したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、そのように決します。

それでは、以上で秘密会を終わります。

引き続き、英語に係る教科用図書採択について審議を続けますので、もとの会場にご移動をお願いいたします。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

英語の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のため、選定委員の入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 英語の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する教科用図書のご報告をお願いいたします。

大西選定委員（平方中校長） それでは、英語の教科書についてご説明申し上げます。

まず、東書については、各ユニットが複数のパートで構成されています。そのユニットで学習した内容をもとに、各学年3回のプレゼンテーションコーナーが設定され、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を段階的に定型で「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、3年間同一の主人公によるストーリー仕立てで興味を図りながら、日常場面別のコミュニケーション活動で使う言語材料、単語情報が巻末に資料提供されています。

「言語や文化に対する理解を深めるための工夫」では、学び方やまとめと練習などの学び続け

るコツ、文法確認のコーナーも用意しています。扱われる内容では、他国の食文化、貿易などの話題を取り入れています。

「特色と思われる点」では、各ユニットの冒頭での目標提示、英会話に役立つコーナーの設置、A B判のサイズ、扱われるトピックの多様さが挙げられます。

開隆堂については、各プログラムが複数のセクションで構成されています。言語材料やそれを活用した会話活動を定型で掲載し、発展学習につなげるなど、「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、コミュニケーションに必要な単語、表現、使用場面・状況に応じ、コーナーとして示されています。

「言語や文化に対する理解を深めるための工夫」では、文法が視覚的効果を生かしたコーナーで確認できるように設定されています。扱われる内容では、国同士の友好関係や国際的イベントなどの話題を取り入れています。

「特色と思われる点」では、各学年1から2回、学び合いを意識した「協働学習」コーナーの設置、A B判のサイズ、アルファベットを独立した課で設定することが挙げられます。

学図については、各レッスンが複数のセクションで構成されています。言語材料の提示から、その定着を図る文法、技能を生かした発展的活動につなげるなど、「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、使用場面や働きに着目し、動作を取り入れるなどの工夫や、会話活動を円滑にするための単語や情報のページがあります。

「言語や文化に対する理解を深めるための工夫」では、語順の違いを意識できるカラフルなページもあり、ジェスチャーなどの文化、生活習慣に視点をあてた題材も取り入れています。

「特色と思われる点」では、発音・発話や意味の異なる単語句などに独自の印の付記、B 5判サイズ、日本文化の英語説明コーナーの設置などが挙げられます。

三省堂については、各レッスンが複数のパートで構成されています。そこで学んだ文法や単語を使い、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を関連させて学習し、それが発展活動につながるような設定を行い、「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、各レッスン間に段階的に4技能を習得できる構成をとり、必要な単語や表現が随時紹介されています。

「言語や文化に関する理解を深めるための工夫」では、レッスンごとの文法のまとめ、復習のコーナーの設置があり、扱われている内容も世界の社会的問題から各国の文化まで幅広い内容を取り上げられています。

「特色と思われる点」では、知識習得、習得事項の活用、3レッスンごとのさらなる発展応用

の型が一定であること。音声に関する学習コーナーが多彩であること。A B判のサイズ、広島の前爆や日本とアジア関係など、トピック選択の視点が挙げられます。

教出については、各レッスンが複数のパートで構成されています。また、それぞれが3部構成をとり、4技能を高める活動とまとめの活動を設定するなど、「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、各レッスンで学習した内容の定着を図るための活動が紹介されて、生活の中で使う具体的な表現を学べる構成になっています。

「言語や文化に対する理解を深めるための工夫」では、英語のしくみがわかるよう、文法内容の復習コーナーが設定されています。内容では、各国の中学校の様子やアジアの生活などが紹介されています。

「特色と思われる点」では、一学年の英文の書き方への配慮事項、4技能活動ごとの色分け、B 5判のサイズ、扱う単語総数が最も多いことなどが挙げられます。

光村については、各ユニットが複数のパートで構成されています。ユニットごとの終わりや複数ユニットの後には、4技能を強化したり、総合的に活用するコーナーが設置されているなど、「コミュニケーション能力を育成するための工夫」がされています。

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」のために、生活の中の身近な表現を使いコミュニケーションを図る学習の設置、それを支える語彙が適宜提示されています。

「言語や文化に対する理解を深めるための工夫」では、発話の場面、文脈を大切にする自然な英語の使い方を紹介し、物語、ノンフィクション、自然科学など多彩な内容を扱っています。

「特色と思われる点」では、各ユニット冒頭の目標設置と生徒が目標達成の自己評価ができる点、A B判のサイズ、英語で保健体育など他教科を学ぶ単元設置などが挙げられます。

次に、教科書の推薦でございますが、東京書籍と三省堂を推薦いたします。

本年6月5日、小・中・高を通じた英語指導改革を盛り込んだ「生徒の英語力向上推進プラン」が文部科学省より提示されました。この中に、「学習指導要領の周知徹底・改善指導」がうたわれました。これはまさしく「英語4技能を統合的に活用したコミュニケーション能力の育成」を目指した授業の改善が強く求められたものであります。こうした視点からも、東書は、「聞く」と「書く」、「話す」と「書く」、「話す」と「聞く」、「書く」という定型の総合的な4技能が組み込まれているという理由で、また三省堂は、「聞く」活動から入り、学んだ文法や単語を使って4技能を関連させて、「知識獲得」「獲得技能の活用」、そして「4技能統合的な応用」という流れが明確な構成であるという理由で、越谷市立中学校の実態と国が求めている英語力向上推進プランに適合していると考え、ここに推薦いたします。

説明及び教科書の推薦につきましては以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告について、質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員からのご回答をお願いいたします。

ただいまのご報告について、何かご質問ございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 特に話すこと、書くことの能力を高めるため、どのような工夫が見られるでしょうか。

大西選定委員（平方中校長） 各社ともコミュニケーション能力の育成を目指し、外国語の表現の能力、「話すこと」「書くこと」には工夫を凝らしています。例えば学図では、「Chapter Project」というコーナーを各学年4つ設定し、「写真の説明」「手紙を書く」などで、「話す、書く」の具体的な場面をつくっています。その際に、5Wの視点を示し、表現の手助けをしています。それらの練習を積み、各学年1から3の「Book Project」という既習事項を統合的に使って表現させる場などを設定するなどしています。

また、光村では、各学年、「Skit Time」や「Go For It!」というコーナーを複数回数設け、生活の場面に即したシチュエーションを設定し、話す場面づくりを提供しています。さらに、「Writing fun」というコーナーを複数設置するなど、書くことに特化した工夫も行っています。

また、三省堂では、文法、語彙を習得する「GET」コーナーに、各レッスンに「Speak」、「Write」の練習コーナーが、さらに活用コーナーとして「Use」、「Speak」、「Write」の独立したコーナーを設置し、段階的に力をつける設定が明確となっております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 小中一貫教育に関連して、入門期の文字指導についてどのような工夫が見られているでしょうか。

大西選定委員（平方中校長） 現行の学習指導要領では、小学校は外国語活動として、「聞くこと」「話すこと」の活動を中心に、文字指導、いわゆる「書くこと」の技能習得は行っていない。しかし、アルファベットの文字の視覚的提示は、日々の生活の中で日常となっているのが現状です。中学になり「書くこと」を4技能の一つとして定着させるために、各社とも一年生の入門期段階で文字指導には力を入れて、紙幅を割いております。例えば東書では、小学校外国語活動で触れてきた表現や活動をふりかえる7ページを入れ、それに継ぐように「Unit 0」という一つの単元を設定し、アルファベットを視覚的に楽しく学べる構成となっております。

また、三省堂では、一年生はじめに小学校で慣れ親しんできた英語を振り返ろう、「Get Ready」の特設コーナーを14ページ設け、その中でアルファベットの導入を行うとともに、教科書に英文字をしっかりときれいに書くことの定着を目指し、4線欄を入れ、練習する場などを

提供しております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 各社の特徴的な題材は何でしょうか。

大西選定委員（平方中校長） 各社ともそれぞれに日本文化、国際理解、社会問題、物語、災害、環境など幅広く題材を扱っていますが、各社の特徴的題材を挙げるとすれば、例えば東書では、発展途上国製品の適正な取引により、生産者の生活向上を目指す「フェア・トレード」イベントや震災等を設定した「避難訓練」を取り上げています。

開隆堂では、岐阜の白川郷の「結」、ノーベル平和賞を受賞したマララさんからマザーテレサまでを扱っています。

学図では、実際に触れて体感できる「点字」、英語になった日本語「すみません」という言葉を取り上げています。

三省堂では、社会面、人間面から、原爆と貞子の物語、手巻き寿司を中心とした各地の食文化を扱っています。

教出では、ロボットコンテストや漫画・アニメ、そして、しまなみ街道、道後温泉などの日本文化・観光にスポットをあてています。

光村では、セラピードッグ、竹の文化について、日本のみならず南米コスタリカやアフリカのザンビアなどを取り上げております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 今回、現行の教科書とは異なる教科書のみが推薦されています。もし英語の教科書が変わるとなると、円滑な移行についてどのような工夫や配慮が必要になると考えられるでしょうか。また、既に対応策が考えられているようであれば、お示しいただけたらと思います。また、英語は受験教科ですので、特に新三年生についての配慮はどのようになっているでしょうか。

大西選定委員（平方中校長） 現行の教科書では、三年生の文法事項中、重要な一つである「受け身形」を学習することになっています。他の4社、開隆堂、三省堂、教出、光村は、二年生最後の既習事項となっております。しかし、現行教科書以外の5社全てに、各レッスン、ユニットのはじめに「受け身形」の既習場面が設定されており、仮に教科書が変更となっても、各社ともこの課題に対応できるような構成となっております。また、推薦する2社の教科書は、三年生で学習する内容のボリュームを若干、他者と比して減らしてあるため、復習事項の中で改めて「受け身形」を学習する余地も十分にあるものと考えられます。

また、各社とも年間指導計画のひな形、学年別使用単語の比較表や各学年で習うべき文法事項

配列比較表の提供があり、仮に変更になったとしても、新三年生が不利になることはないと思います。

住田委員長 他にはどなたかございませんか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、質疑のほうを終わりにいたします。

選定委員の退室をお願いします。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、協議を行います。

はじめに、調査の観点「学習指導要領の教科の目標とのかかわり」に関連しますが、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4つの技能を総合的に育成する工夫について協議したいと思います。ご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 どの教科書も、「聞く、話す、読む、書く」の4つの技能をアイコンで示していて、どんな活動で学習するのか、具体的に示しています。また、練習問題などは直接書き込む形式が多いようです。

東書の一年生は、見開き2ページに4つの技能全てのアイコンが示されていて、二、三年生では、読む力を強化するアイコンが多く見られます。各題材の終わりには、書き込み式の「ふりかえり」があります。

また、「Daily Scene」、それから「Presentation」、「Let's Read」のコーナーを設けて、4技能を活用させる活動を取り入れています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 学図では、見開きの右ページで、「聞く」、「話す」、「書く」の内容が確認できるようになっています。

三省堂では、基本文とその練習問題があわせて記載されていて、内容に入る前に簡単な練習ができるようになっています。そして、見開きの右下には、応用練習ができるコーナーがあります。

どの教科書も4つの技能を高める発展的な活動が、題材と題材の間にあります。例えば、教出では、「Jump」のページで、自分の考えを組み立てながら発表するという活動があります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 コミュニケーション能力の育成という観点から、自分が中学生だったころと比べて、最近の英語の授業では、先生の指示や、あるいは友人や先生とのやりとりも英語で進められています。実際に立ち会くと、本当に聞き取れているのか心配な部分もあるのですが、こうした点に

についても各社とも工夫がされています。

しかし、例えば三省堂ですと、一年の教科書の18・19ページ、それから「TOTAL ENGLISH」のほうでは6ページと7ページに、先生が使う英語や友達の会話とか例が載っているのですけれども、こういうのを見ても会話の相手をどの程度意識したものになっているか。あるいは、できるだけ英語を使って進めていくといった点から、若干の違いがあるように思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次の調査の観点「内容」に関連しますが、小学校の「聞く・話す」を主体とした外国語活動と、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る中学校の英語とでは、子どもたちが内容にギャップを感じると思われます。そこで、「小学校と中学校の学習の接続についての配慮・工夫」について協議したいと思います。

ご意見、お願いします。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書、開隆堂、三省堂、教出には、目次のほかに、小学校の外国語活動を含めて1年間どのような構成で学習しているのかを示したページがあり、見通せるようになっています。

また、東書では、小学校で使用した教材で「Hi, friends!」というのがあったのですけれども、それによく似ている「Hi, English!」のページがあり、続いてアルファベットや単語の「読む」、「書く」の学習をしてから、自己紹介などの題材につなげています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 開隆堂は、「Let's Start」という部分で、最初に挨拶や身の周りのものなどを聞いて発音したり、指差したりといった外国語活動の授業内容を生かした活動があり、その後に一つの題材としてアルファベットの文字学習を設定しています。

また、学図は、「Pre-Lesson」という部分で、題材に入る前に、聞いて発音したり、聞いて内容を推測したりといった小学校での授業を復習し、アルファベットの文字学習に入っています。また、一般動詞から学ばせる構成になっています。

住田委員長 他にはいかがですか。

吉田教育長。

吉田教育長 小学校外国語活動が導入されたわけですが、小学校で英語の音声に触れた後で、中学校で文字をどのように表すかを学ぶため、学習指導要領に新たに示されたものとして、発音とつづりの関連づけがあります。これについては各社とも付録や各題材の欄外に載せておりますけれども、ちなみに三省堂では、48ページに発音とつづりについて取り上げています。ABCのAと

というのはアンドというような形で発音とつづりの関連づけということですが、これについて、さらにレッスンのまとめのページ、例えば56ページの一番下に発音とつづりというような形で、改めてまた取り上げてふりかえっております。

また、英語の授業時数が140時間に増加したわけですが、三省堂の教科書では、増加分に見合うよう、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」、この4技能を統合して活用できるよう、5ページの目次のところに3回ほど「Project」というのが出ています。この「Project」というのはどういうものかということ、82ページを見ると、4つの技能に続いて、例えばインタビューをしてみようとか、さらにはメモをもとに紹介文を書こうとかというような形で、4技能を統合して活用できるよう、この「Project」が配置されており、学習指導要領の内容に沿った授業を展開しやすくなるよう工夫されております。

住田委員長 他にはどなたか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に、調査の観点「資料」及び「総括」に関連しますが、学習効果を高め、学力の向上を図るための学習過程、いわゆる「学習の流れの工夫」について協議したいと思います。

各教科書にそういった特徴は見られるでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 東書は、基礎・基本の習得と、それを実際に使う交流活動、さらに発展的なスピーチ発表という構成になっています。スピーチの題材は、学年ごとの目標と関連しています。

学図は、左ページが題材の内容、右ページがその確認内容でくり返されていて、細かくふり返っています。

三省堂では、一年生の前半が基礎・基本の内容を中心に、また一年生の後半から二、三年生は、題材ごとに前半を基礎・基本、後半を発展的な内容に設定し、一つの題材の中で発展的な学習を取り上げています。

住田委員長 他にはございますか。

進藤委員。

進藤委員 開隆堂では、英語のできるようになったことリスト、三省堂はCAN-DOリスト、教育出版は自己チェックリストというように、学習の到達目標を示すリストを載せてあります。

また、光村、開隆堂、三省堂は、基本文の理解を深めるために関連する補充ページが示してあり、基本文の確認を生徒自身で調べられるよう工夫がなされています。

住田委員長 他に協議したい内容はありますか。

櫻田代理。

櫻田委員長職務代理者 各中学校の調査研究の状況ですが、現行の学図の推薦は15校中9校です。

この数は、他の種目と比較して、やや少ないものとなっています。さきに事務局で確認したのですが、学図を推薦した9校のうち、学図のみを推薦した学校は2校にとどまるということでした。したがって、市内中学校15校のうち、学図でなければという学校が2校、学図であっても、なくてもよいという学校が7校、学図を推薦しなかった、すなわち学図から変えて欲しいという学校が6校ということになります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先般行われました教科書展示会のアンケート結果を拝見したのですが、教職員の先生方からのご意見というのは、学図を推す意見よりも他社を推す意見のほうがやや多かったような印象を受けました。

住田委員長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それではこれより英語の教科用図書選択に係る最終協議及び採択に入ります。

秘密会とするため、教育委員は別室へご移動をお願いいたします。

住田委員長 これより秘密会といたします。

それでは、英語の教科用図書の採択に係る最終協議を行います。何かご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、採択に移ります。

各委員に、採択を希望する教科書の社名をお尋ねいたします。

住田委員長 はじめに、A委員。

A委員 三省堂でお願いいたします。

住田委員長 次に、B委員。

B委員 三省堂でお願いします。

住田委員長 次に、C委員。

C委員 三省堂でお願いします。

住田委員長 次に、D委員。

D委員 三省堂でお願いします。

住田委員長 それでは、4名とも三省堂ということで委員のご意見が一致しておりますので、三省堂に決したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、そのように決します。

以上で秘密会を終わります。

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

平成28年度使用中学校教科用図書の全ての種目について審議が終わりましたので、採択する教科用図書を種目名、発行者略称の順に読み上げます。なお、発行者番号及び教科用図書名については省略させていただきます。

平成28年度使用中学校教科用図書といたしまして、よろしいでしょうか。

国語は、光村。

書写は、光村。

社会の地理的分野は、東書。

社会の歴史的分野は、東書。

社会の公民的分野は、東書。

地図は、帝国。

数学は、東書。

理科は、学図。

音楽の一般は、教芸。

音楽の器楽は、教芸。

美術は、開隆堂。

保健体育は、学研。

技術・家庭の技術分野は、開隆堂。

技術・家庭の家庭分野は、開隆堂。

英語は、三省堂。

特別支援教育の国語は東書、数学は教出、音楽は東書。

なお、特別支援教育の国語、数学、音楽の教科用図書については、いずれも文部科学省著作でございます。

以上のとおりでございます。

これより、第45号議案「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」を採決いたします。

以上の教科用図書を採択する旨、決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、ご異議ないものと認めまして、本案は以上のとおり可決いたしました。

◎その他

住田委員長 最後に、8月の定例教育委員会会議の日時でございますけれども、次回の教育委員会会議は8月27日木曜日、午前10時から、場所は教育委員会室で開催したいと存じます。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

住田委員長 それでは、これをもちまして臨時会を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

(午後 4時44分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長 任 田 俊

委員 櫻 田 玲子

委員 堀 川 智子

委員 進 藤 秀子

委員 吉 田 茂
(教育長)

書記 教育総務課副課長 中 村 則 行